令和６年度

学校要覧

沖縄県立桜野特別支援学校

〒905-0006　沖縄県名護市字宇茂佐 1787-1
ＴＥＬ　（0980）52-3920
ＦＡＸ　（0980）54-1488
ＵＲＬ　http.//www.sakurano-sh.open.jp

校 章

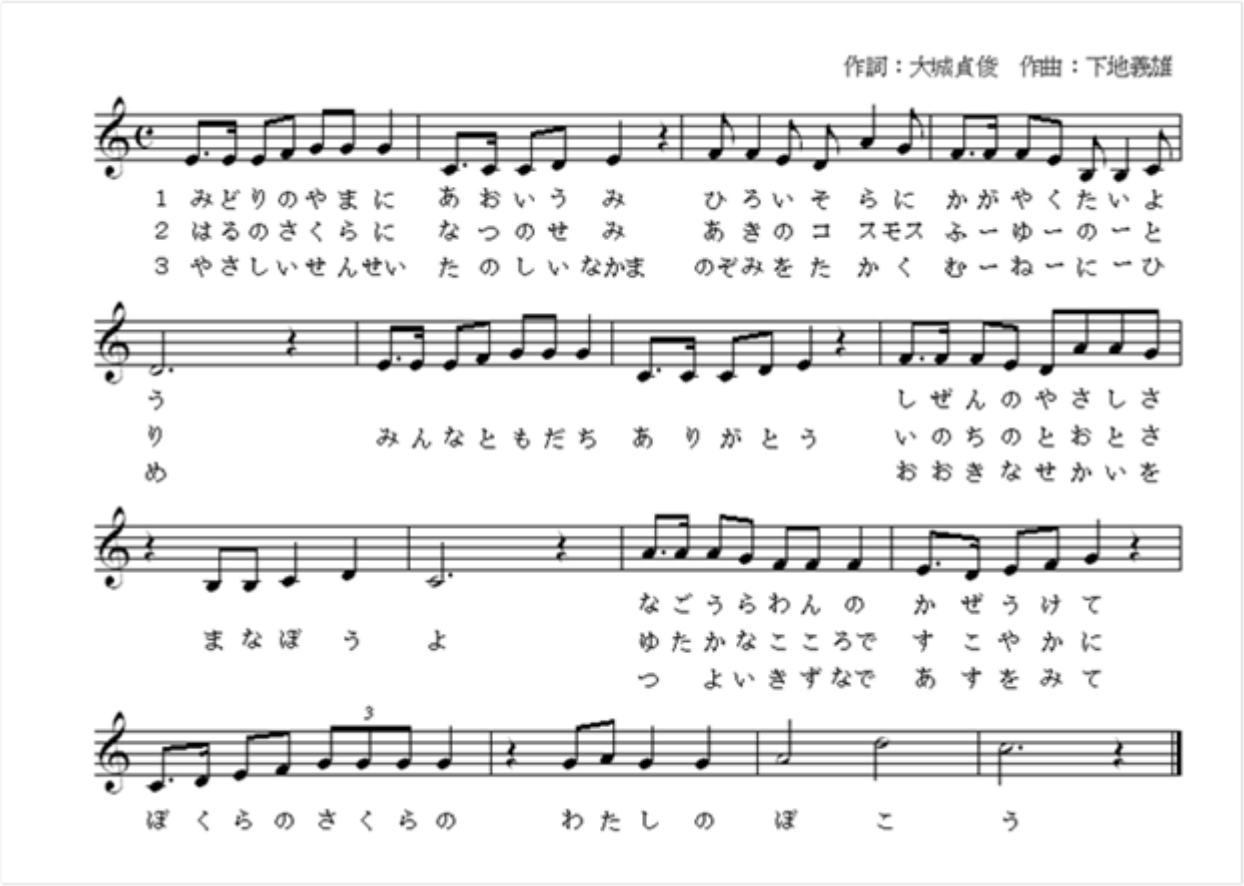
色：外円（緑）
内円（群青）
内内円（赤）
中央の高天（桜色）
五つの小円（赤）
Ｐ（黒）
肢体不自由特別支
援学校の頭文字

校章のねがい

1　やんばるの野で、豊かさと平和・平安
2　沖縄の空で、理性・理想・希望
3　沖縄の太陽、生命の源
4　愛
5　五和会・地域との連携
6　肢体不自由特別支援学校の頭文字

作図者　　砂川恵光

桜野特別支援学校校歌



校　歌

作詞　大城貞俊
作曲　下地義雄

一

緑の山に　青い海
広い空に　輝く太陽
みんな友だち　ありがとう
自然の優しさ　学ぼうよ
名護浦湾の　風受けて
ぼくらの桜野　私の母校

二

春の桜に　夏の蝉
秋のコスモス　冬の鳥
みんな友だち　ありがとう
命の尊さ　学ぼうよ
豊かな心で　すこやかに
ぼくらの桜野　私の母校

三

やさしい先生　楽しい仲間
望みを高く　胸に秘め
みんな友だち　ありがとう
大きな世界を　学ぼうよ
強いきずなで　明日を見て
ぼくらの桜野　私の母校

県立桜野特別支援学校

校木：「サクラ」（バラ科）

校名に歴然としたその名が刻まれ、校章にもその花が図案化されている。

校花：「ベゴニア」（シュウカイドウ科）

本校施設や校内を彩る代表的な花であり、花言葉も「幸福な日々」、「親切」「丁寧」など校訓の『思いやり』を彷彿させ、優しさとしぶとさを兼ね備えた花である。

目　次

Ⅰ　学校概要

1　沿革概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1～　5

2　校地及び校舎平面図・・・・・・・・・・・・・・・・　6～　7

Ⅱ　学校経営方針

1　本校の教育目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

2　本校の教育目標を達成するための方針・・・・・・・　8

3　本年度の重点目標・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

4　教育課程編成の基本方針・・・・・・・・・・・・・・　9

Ⅲ　学校運営

1　職員構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０

2　職員一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０

3　学校運営組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１

4　校務分掌内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２～　１４

5　各種会議・委員会等・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５～　１７

Ⅳ　教育課程

1　小学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８～　３４

2　中学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３５～　５２

3　高等部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５３～　８０

4　週時程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８１

5　年間行事計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８２～　８５

6　学校保健計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８６

7　学校安全計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８７

Ⅴ　児童生徒の実態

1　学級編制表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８８

2　市町村別児童生徒数・・・・・・・・・・・・・・・・　８９

3　令和５年度卒業生進路先・・・・・・・・・・・・・・　８９

4　児童生徒の疾病及び障害の実態・・・・・・・・・・・　９０

5　医療的ケアを必要とする児童生徒・・・・・・・・・・　９１

Ⅵ　防災管理計画

1　学校防災管理計画・・・・・・・・・・・・・・・・・　９２～　９６

Ⅶ　スクールバス

1　スクールバス運行時刻一覧表・・・・・・・・・・・・　９７

2　スクールバス運行経路・・・・・・・・・・・・・・・　９８

3　スクールバスの防災対策・・・・・・・・・・・・・・　９９～　１０１

Ⅷ　歴代校長・教頭・事務長一覧

1　桜野特別支援学校歴代校長・教頭・事務長一覧・・・　１０２

Ⅰ

学 校 概 要

１　沿革概要

昭和５７年
　５月２９日　沖縄県立名護養護学校訪問学級として社会福祉法人五和会名護療育園（重症心身障害児施設）内で教育活動を開始
（教員６名、小学部１７名、中学部９名、計２６名）
昭和６１年
　９月　５日　沖縄県立学校の分校設置に関する規則の一部を改正する規則（沖縄県教育委員会規則第７号）により沖縄県立泡瀬養護学校名護分校として名護市字宇茂佐 1787 番地の１に設置する。
　１１月　１日　沖縄県立泡瀬養護学校名護分校として発足する。　校長・久高利男（兼）
教頭・仲田文雄、事務主事・木下義章、教諭・宮城信夫発令される。
昭和６２年
　４月　１日　沖縄県立泡瀬養護学校名護分校開校
　４月　８日　開校式、始業式、並びに入学式
（教員２６名、小学部２３名、中学部１３名、計３６名）
　５月２３日　開校記念、校舎落成式典
昭和６３年
　３月２３日　第１回修了式・卒業式・離任式（卒業生：小学部５名、中学部８名、計１３名）
　４月　７日　始業式・並びに入学式（新入生：小学部０名、中学部５名）
平成元年
　３月２４日　第２回修了式・卒業式・離任式（卒業生：小学部３名、中学部２名、計５名）
　４月　１日　人事異動：転入　校長・宮城孫尚、教頭・渡口麗順発令される。
　７日　平成元年度　入学式・始業式・就任式（新入生：小学部３名、中学部３名）
平成２年
　３月２３日　第３回修了式・卒業式・離任式（卒業生：小学部３名、中学部３名、計６名）
　４月　９日　平成２年度就任式・始業式・入学式（新入生：小学部３名、中学部３名）
平成３年
　３月２２日　第４回修了式・卒業式・離任式（卒業生：小学部２名、中学部６名）
　４月　１日　人事異動：転出　校長・宮城孫尚（沖ろうへ）
転入　校長・新屋敷秀樹（沖ろうから）
　８日　平成３年度就任式・始業式・入学式（新入生：小学部１名、中学部２名）
平成４年
　３月２３日　第５回修了式・卒業式・離任式（卒業生：小学部５名、中学部３名、計８名）
　４月　１日　人事異動：転出　教頭・渡口麗順（那覇養護へ）
転入　教頭・照屋盛順（森川養護から昇任）
　７日　平成４年度始業式・就任式・入学式（新入生：小学部１名、中学部１名）
平成５年
　３月２３日　第６回修了式・卒業式・離任式（卒業生：小学部１名、中学部５名、計６名）
　４月　７日　平成５年度就任式・始業式・入学式（新入生：小学部２名、中学部１名）
平成６年
　３月２３日　第７回修了式・卒業式・離任式（卒業生：小学部１名、中学部２名、計３名）
　４月　１日　人事異動：転入　校　長・大城勇一（島尻養護から）
事務長・安富祖英紀（本部高校から）
平成７年
　３月２３日　第８回修了式・卒業式・離任式（卒業生：小学部６名、中学部５名、計１１名）
　４月　１日　人事異動：転出　教頭・照屋盛順（沖ろうへ）
転入　教頭・仲松忠（鏡が丘養護から）
　７日　平成７年度就任式・始業式・入学式（新入生：小学部０名、中学部６名、計６名）
平成８年
　３月２１日　第９回修了式・卒業式・離任式（卒業生：小学部３名、中学部１名、計４名）
　４月　７日　平成８年度就任式・始業式・入学式（新入生：小学部０名、中学部３名、計３名）
平成９年
　１月２４日　平成９年度４月から１部通学制実施の通知を県教育委員会から受ける。
　３月１７日　創立１０周年記念誌発刊
　２１日　第１０回修了式・卒業式・離任式（卒業生：小学部１名、中学部１名、計２名）
　４月　１日　人事異動：定年退職　校長・大城勇一、転出　教頭・仲松忠（那覇養護へ）
転入　校長・銘苅愛子（森川養護から）、教頭・久場兼征（大平養護から）
　７日　平成９年度就任式・始業式・入学式（新入生：小学部３名、中学部１名、計４名）

平成１０年
３月２１日　第１１回修了式・卒業式・離任式（卒業生：小学部２名、中学部６名、計８名）
４月　７日　平成１０年度就任式・始業式・入学式（新入生：小学部０名、中学部２名、計２名）
平成１１年
３月２３日　第１２回修了式・卒業式・離任式（卒業生：小学部２名、中学部２名、計４名）
４月　１日　人事異動：定年退職　校長・銘苅愛子、　転出　教頭・久場兼征（名護養護へ）
転入　校長・伊良皆賢哲、教頭・大城學（宮古養護から）
７日　平成 11 年度就任式・始業式・入学式（新入生：小学部３名、中学部２名、計５名）
平成１２年
１月　１日　沖縄県立桜野養護学校として独立校になる。　初代校長　仲松忠　発令
２３日　平成 11 年度第１回修了式・卒業式・離任式
（卒業生：小学部０名、中学部２名、計２名）
４月　１日　人事異動：転入　事務長・島袋京子
７日　平成１２年度就任式・始業式・入学式（新入生：高等部９名）開校式典・祝賀会
平成１３年
３月２３日　平成１２年度第２回修了式・卒業式・離任式
卒業生：小学部０名、中学部２名、高等部０名
４月　１日　人事異動：転出　教頭・大城學（宮古養護学校へ校長昇任）
転入　教頭・比嘉良高（泡瀬養護学校から教頭昇任）
７日　平成１３年度就任式・始業式・入学式
新入生：小学部１名、中学部０名、高等部７名
１１日　学校給食開始（通学児童生徒６名、職員６名でスタート）
平成１４年
２２日　平成１３年度第３回修了式・卒業式・離任式
卒業生　小学部２名、中学部２名、高等部０名
４月　１日　人事異動：　転出　初代校長・仲松忠（森川養護へ）
事務長・島袋京子（宜野座高校へ）
転入　２代校長・天久仁助（石川高校から）
事務長・次呂久長英（首里東高校から）
８日　平成１４年度就任式・始業式・入学式
入学生　小学部１名、中学部２名、高等部６名
全児童生徒数　小学部 10 名、中学部２名、高等部 20 名　計 32 名
平成１５年
３月２４日　平成１４年度小・中学部第４回、高等部第１回修了式・卒業式・離任式
４月　７日　平成１５年度就任式・始業式・入学式
入学生　小学部３名、中学部４名、高等部５名
全児童生徒数　小学部９名，中学部６名，高等部 18 名　計 33 名
平成１６年
３月２４日　平成１５年度小・中学部第５回、高等部第２回修了式・卒業式・離任式
卒業生　小学部１名、中学部なし、高等部７名
４月　７日　平成１６年度就任式・始業式・入学式
入学生　小学部０名、中学部２名、高等部５名
全児童生徒数　小学部８名、中学部８名、高等部 16 名　計 32 名
高等部校舎増築及び図書室、音楽室、美術室、水訓練室完成
平成１７年
３月２４日　平成１６年度小・中学部第６回、高等部第３回修了式・卒業式・離任式
卒業生　小学部２名、中学部２名、高等部５名
４月　１日　人事異動：　退職　　２代校長・天久仁助
転入　　３代校長・田仲康丈　（名護養護学校より）
４月　７日　平成１７年度就任式・始業式・入学式
入学生　小学部１、中学部２名、高等部６名
全児童生徒数　小学部７名、中学部８名、高等部 16 名　計 31 名
平成１８年
３月２４日　平成１７年度小・中学部第７回、高等部第４回修了式・卒業式・離任式
卒業生　小学部１名、中学部４名、高等部５名
３０日　スクールバス配車
４月　１日　訪問学級設置:本校訪問教育スタート小学部１年１名、 医療的ケア実施看護師１名
人事異動：　転出　　３代校長・田仲康丈　（県立名護養護学校へ）
転入　　４代校長・識名　昇　（沖縄県平和資料館より）
７日　平成１８年度就任式・始業式・入学式

入学生　小学部３、中学部１名、高等部５名
全児童生徒数　小学部８名、中学部５名、高等部１７名　計 30 名

平成１９年
２３日　平成１８年度小・中学部第８回、高等部第５回修了式・卒業式・離任式
卒業生　小学部１名、中学部２名、高等部５名
４月　１日　人事異動：　転出　４代校長・識名　昇　（県立南風原高等学校へ）
教頭・唐眞　盛充　（県立八重山養護学校へ）
転入　５代校長・又吉　幸子　（県立森川養護学校より）
教頭・仲村渠　修　（県立美咲養護学校より）
９日　平成１９年度就任式・始業式・入学式
入学生　小学部３、中学部１名、高等部２名　計６名
全児童生徒数　小学部１０名、中学部４名、高等部１４名　計２８名

平成２０年
３月２４日　平成 19 年度第９回小・中学部並びに第６回高等部卒業式及び修了式
卒業生　小学部１名、中学部２名、高等部６名
４月　１日　人事異動：　転出　事務長・比嘉 順　（県立美来工科高等学校へ）
転入　事務長・宮城 乾　（国頭教育事務所より）
７日　平成 20 年度就任式・始業式・入学式
入学生　小学部３名、中学部１名、高等部４名　計８名
全児童生徒数　小学部１２名、中学部３名、高等部１２名　計２７名

平成２１年
３月２４日　平成 20 年度 第 10 回 小・中学部並びに第７回高等部卒業式及び修了式
卒業生 小学部 3 名（訪問学級生１名）、中学部１名、高等部 6 名 合計 10 名
４月　１日　沖縄県立特別支援学校管理規則の一部改正を受け、学校の名称を「沖縄県立桜野養護学校」から「沖縄県立桜野特別支援学校」へ変更
人事異動：　退職　５代校長・又吉　幸子
転出　教頭・仲村渠　修　（県立沖縄高等特別支援学校へ）
転入　６代校長・照屋　成順　（県立沖縄ろう学校より）
教頭・町田　裕　（県立鏡が丘養護学校より）
７日　平成 21 年度就任式・始業式・入学式
入学生　小学部３名、中学部３名、高等部２名　計８名

平成２２年
２月　５日　創立１０周年記念式典
３月２４日　平成 21 年度 第 11 回 小・中学部並びに第８ 回高等部卒業式及び修了式
卒業生　小学部１名、中学部１名、高等部２名　合計４名
４月　１日　人事異動：　転出　教　頭・町田　裕　（県立総合教育センター）
事務長・宮城　乾　（県立辺土名高等学校）
転入　教　頭・平良 浩希（県立総合教育センター）
事務長・波平　誠　（県立未来工科高等学校）
７日　平成 22 年度就任式・始業式・入学式
入学生　小学部２名、中学部１名、高等部１名　計４名

平成２３年
３月　２日　県指定グループ研究報告会
「肢体不自由児の意欲と自発性を引き出す自立活動の取り組み」
２４日　平成２２年度 第１２回 小・中学部並びに第９回高等部卒業式及び修了式
卒業生　小学部１名、中学部２名、高等部５名　合計８名
４月　１日　人事異動：　退職　６代校長・照屋 成順
転入　７代校長・比屋根 博之（読谷高等学校より）
７日　平成２３年度就任式・始業式・入学式
入学生　小学部１名、中学部１名、高等部１名　計３名

平成２４年
３月２３日　平成２３年度 第１３回 小・中学部並びに第１０回高等部卒業式及び修了式
卒業生　小学部４名、中学部３名、高等部２名　合計９名
４月　１日　人事異動：転入　事務長・宮城 光代（泡瀬特別支援学校より）
９日　平成２４年度　就任式・始業式・入学式
入学生　小学部２名、中学部４名、高等部２名　計８名
５月　１日　全児童生徒数　小学部１５名　中学部７名　高等部５名　計２７名

平成２５年
３月２１日　平成２４年度　小学部、中学部第１４回卒業式　高等部第１１回卒業式
（小学部４名　中学部１名　高等部２名）

４月　１日　人事異動：退職　校長（７代）・比屋根 博之
転出　教頭・平良浩希（高等特別支援学校へ）
事務長・宮城 光代（美里高校へ）
転入　校長（８代）・中石直木(県教育庁県立学校教育課より）
教頭・幸地英之（森川特別支援学校より）
事務長・阿波連智子（島尻特別支援学校より）
８日　平成２５年度就任式・始業式・入学式
入学生　小学部１名、中学部４名、高等部１名　　計６名

平成２６年
３月２０日　小学部・中学部１５回卒業式　高等部１２回卒業式
卒業生　小学部３名　中学部２名　高等部１名　計６名
４月　１日　人事異動：転出　校長（８代）・中石直木（北部農林高校）
教頭・幸地英之（総合教育センターＩＴ教育班）
事務長・阿波連智子（西崎特別支援学校）
転入　校長（９代）・嵩原 建二(名護特別支援学校より）
教頭・比嘉守雄（沖縄ろう学校より）
事務長・比嘉勝人（島尻特別支援学校）
７日　平成２６年度就任式・始業式・入学式
入学生　小学部２名、中学部２名、高等部０名　　計４名
５月　１日　全児童生徒数　小学部１２名　中学部１３名　高等部３名　計２８名

平成２７年
３月２３日　小学部・中学部１６回卒業式　高等部１３回卒業式
卒業生　小学部３名　中学部５名　高等部２名　計１０名
４月　７日　平成２７年度就任式・始業式・入学式
入学生　小学部３名、中学部４名、高等部５名　　計１２名
５月　１日　全児童生徒数　小学部１１名　中学部１２名　高等部６名　計２９名

平成２８年
３月２３日　小学部・中学部１７回卒業式　高等部１４回卒業式
卒業生　小学部２名　中学部５名　高等部１名　計８名
４月　１日　沖縄県立特別支援学校管理規則の一部改正を受け、病弱部門設置
（肢体不自由児と病弱児対象の特別支援学校へ）
人事異動：転出　校長（９代）・嵩原建二（定年退職）
事務長・比嘉勝人（西崎特別支援学校）
転入　校長（10 代）・長浜勝直(鏡が丘特別支援学校より）
事務長・瀬底哲也（辺土名高等学校より）
７日　平成２８年度就任式・始業式・入学式
入学生　小学部２名、中学部２名、高等部５名　　計９名
５月　１日　全児童生徒数　小学部１１名　中学部８名　高等部１０名　計２９名
２７日　沖縄県緑化コンクール　学校環境緑化の部　準特選

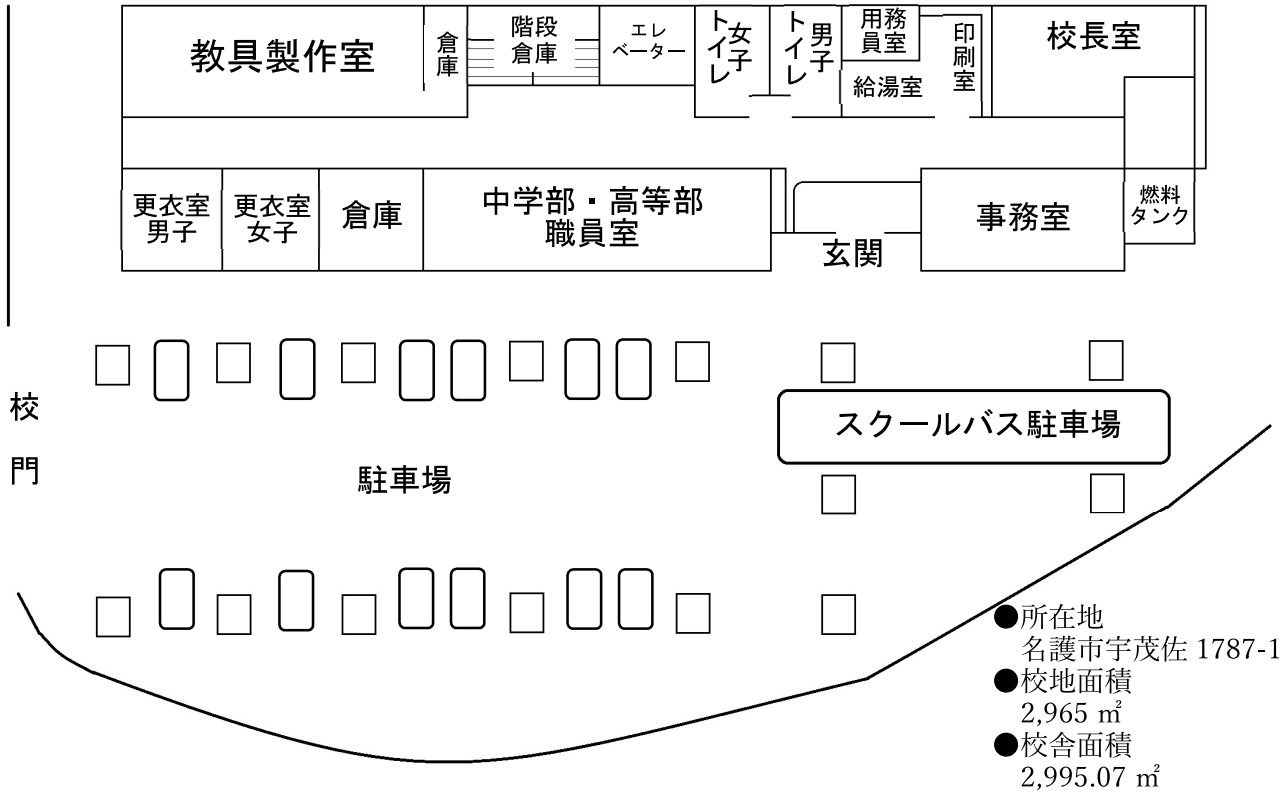
平成２９年
３月２３日　小学部・中学部１７回卒業式
卒業生　小学部１名　中学部３名　　計４名
２４日　修了式　離任式
４月　１日　人事異動：転出　本務４名　臨任１３名
転入　本務５名　臨任　９名
７日　平成２９年度就任式・始業式・入学式
入学生　小学部２名、中学部１名、高等部３名　　計６名
５月　１日　全児童生徒数　小学部１２名　中学部６名　高等部１３名　計３１名
学級数　小学部６学級　中学部３学級　高等部６学級　計１５学級

平成３０年
３月２２日　小学部・中学部１９回卒業式　高等部第１５回卒業式
卒業生　小学部２名　中学部３名　高等部５名　計１０名
２３日　修了式　離任式
４月　１日　人事異動　転出　校長（第 10 代）長浜勝直（泡瀬特別支援）
教頭・比嘉守雄（定年退職）、事務長・瀬底哲也（北山高校）
転入　校長（第 11 代）座間味恵利子（美咲特別支援より）教頭・比嘉徹
（大平特別支援より）事務長・町田千枝子（真和志高校より）
９日　平成３０年度就任式・始業式・入学式
入学生　小学部２名、中学部３名、高等部３名　計８名
５月　１日　全児童生徒数　小学部１２名　中学部６名　高等部１２名　計３０名

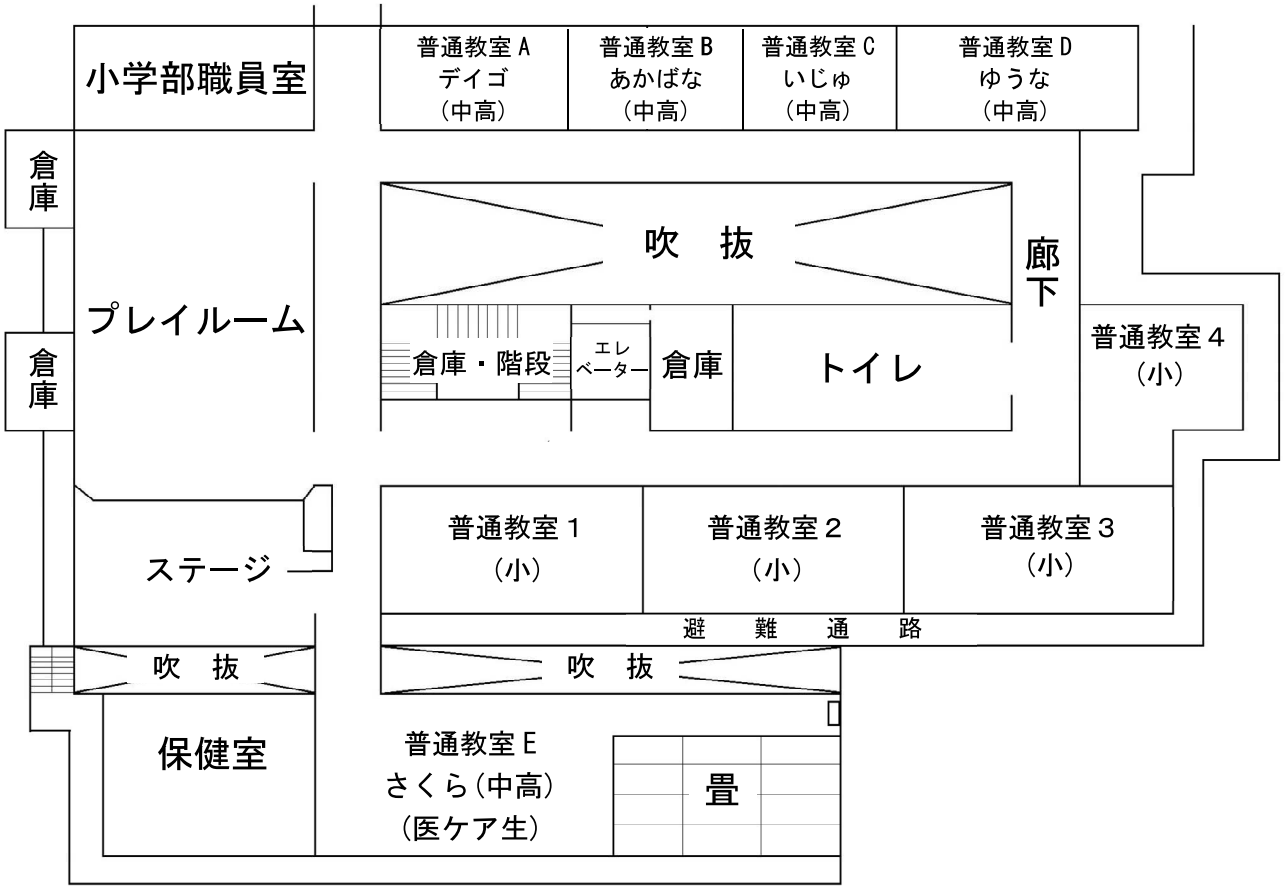
平成３１年
　３月２０日　小学部・中学部２０回卒業式　高等部１６回卒業式
　　卒業生　小学部１名　中学部２名　高等部６名
　４月　８日　平成３１年度　就任式・始業式
　　９日　平成３１年度　入学式　入学生：小学部０名 中学部１名 高等部２名　計３名
令和元年
　５月　１日　全児童生徒　小学部１１名　中学部５名　高等部８名　計２４名
令和２年
　２月１０日　創立２０周年記念式典・祝賀会
　３月１９日　小学部・中学部２１回卒業式　高等部１７回卒業式
　　卒業生　小学部２名　中学部１名　高等部３名　計６名
　４月　１日　人事異動　転出　校長（第11代）座間味恵利子（鏡が丘特別支援）
　　教頭・比嘉徹（鏡が丘特別支援浦添分校）
　　事務長・町田千枝子（美咲特別支援）
　　転入　校長（第12代）幸地英之（沖縄ろう学校より）
　　教頭・池間千佳子（森川特別支援より）
　　事務長・小渡靖（美咲特別支援より）
　　７日　新型コロナウイルス感染症への対応に伴う臨時休業（～５月２０日）
　５月　１日　全児童生徒　小学部１２名　中学部５名　高等部６名　計２４名
　　学級数　小学部６学級　中学部３学級　高等部３学級　計１２学級
　　２１日　令和２年度　就任式・始業式
　　令和２年度　入学式　入学生：小学部３名 中学部２名 高等部１名　計６名
令和３年
　３月１９日　小学部・中学部２２回卒業式　高等部１８回卒業式
　　卒業生　小学部４名　中学部３名　高等部３名　計１０名
　　２４日　令和２年度 修了式　離任式
　４月　７日　令和３年度　就任式・始業式
　　８日　令和３年度　入学式　入学生：小学部２名 中学部４名 高等部３名　計９名
　５月　１日　全児童生徒　小学部１１名　中学部７名　高等部６名　計２４名
　　学級数　小学部４学級　中学部４学級　高等部４学級　計１２学級
令和４年
　３月１８日　小学部・中学部２３回卒業式　高等部１９回卒業式
　　卒業生　小学部２名　中学部１名　高等部２名　計５名
　　２４日　令和３年度 修了式　離任式
　４月　１日　人事異動　転出　教頭　池間千佳子（鏡が丘特別支援学校）
　　転入　教頭　金武圭代（泡瀬特別支援学校）
　４月　７日　令和４年度 就任式・始業式　転入生１名（高等部３年）
　　令和４年度 入学式 入学生：小学部４名　中学部２名　高等部２名　計８名
　５月　１日　全児童生徒　小学部１３名　中学部８名　高等部７名　計２８名
　　学級数　小学部５学級　中学部４学級　高等部６学級　計１５学級
令和５年
　３月２２日　小学部・中学部２４回卒業式　高等部２０回卒業式
　　卒業生　小学部２名　中学部２名　高等部２名　計６名
　　２４日　令和４年度　修了式　離任式
　４月　１日　人事異動　転出　校長（第12代）幸地英之（定年退職）
　　事務長　小渡　靖（西崎特別支援学校）
　　転入　校長（第13代）津波佳和（那覇みらい支援学校）
　　事務長　崎浜太一郎（豊見城高校）
　４月　７日　令和５年度　就任式・始業式
　　令和５年度　入学式　入学生：小学部１名　中学部２名　高等部２名　計５名
　５月　１日　全児童生徒　小学部１２名　中学部８名　高等部７名
　　学級数　小学部５学級　中学部４学級　高等部５学級　計１４学級
令和６年
　３月１９日　小学部・中学部２５回卒業式　高等部２１回卒業式
　　卒業生　小学部２名　中学部４名　高等部３名　計９名
　　２２日　令和５年度　修了式　離任式

校地及び校舎平面図

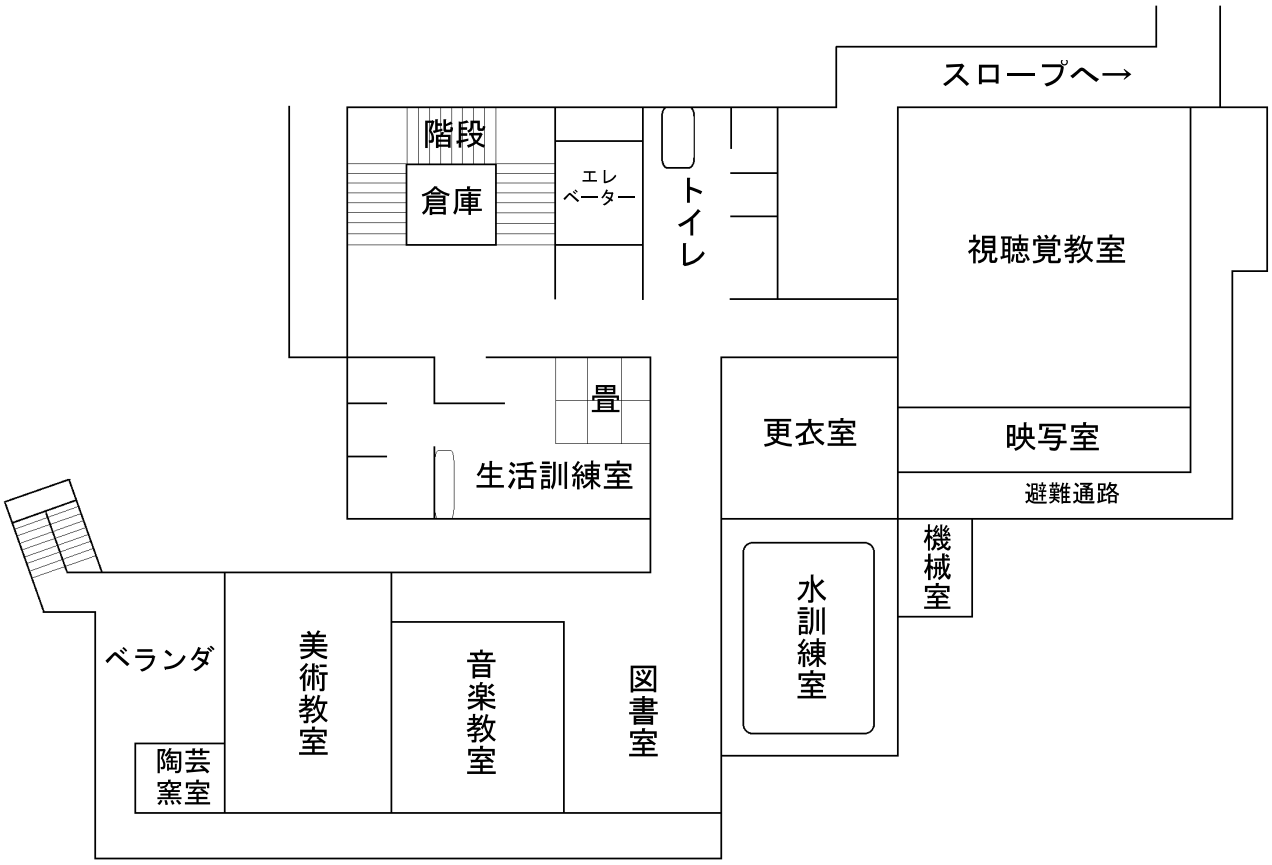
1 階配置図



2 階配置図



3 階配置図


スロープへ→
階段
倉庫
エレベーター
トイレ
視聴覚教室
畳
生活訓練室
更衣室
映写室
避難通路
機械室
水訓練室
ベランダ
美術教室
音楽教室
図書室
陶芸窯室

Ⅱ　学校経営方針

令和６年度　学校経営方針

学校経営の理念

本校は、沖縄本島北部地区の肢体不自由児及び病弱児の教育を行う拠点としての役割を担っている。地域の関係機関や保護者と全職員が連携を図りながら、本校の校訓である「健康・思いやり・自律」に向けて、児童生徒一人一人が可能な限り自立し社会参加する「生きる力」を育む教育活動を実践する。そのために、県教委には人的・物的・財政的な対応を求め、地域・保護者には、学校で行われている教育・支援等の情報を適切に伝え、意見の反映できる体制作りに努める。また、教職員には、今後の特別支援教育を担っていく人材であることを自覚し、指導力の向上、資質向上の取り組みを進めるなど、協働して役割を果たせるようにする。

１　本校の教育目標

児童生徒一人一人の障害の状態や発達段階及び特性に応じた教育を実践し、児童生徒一人一人が可能な限り自立し社会参加する「生きる力」を育む。

２　本校の教育目標を具現化する基本方針

本校の児童生徒に共通する「生きる力」とは、

（１）健康を保持する力

（２）地域で長く楽しく活動する力

と捉えて、教職員個々の経験や専門性と地域資源を十分に活かし、計画的、組織的に学校を機能させ実践する。

〈本校のめざす子ども像〉

○健康を意識する子

○素直で思いやりのある子

○主体的に活動する子（ジンブンのある子）

〈本校のめざす教職員像〉

○児童生徒の将来像を描き実践する教職員

○多様な角度から検討し、論理的・客観的に学校運営に参画する教職員

○受容的・共感的な姿勢で臨み、自信に満ちた教職員

３　本年度の重点目標

（１）児童生徒の「生きる力」を育む教育の実践

①学習指導要領の主旨に応じた教育の充実を図る。

②具体的に示す「生きる力」への取組みの体系化を図る。

③授業時数の確保に努め、基礎的・基本的内容の定着に努める。

④「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」と連動した学習活動の実践。

⑤進路先の企業や福祉施設等との切れ目ない支援のための適切な引き継ぎ等連携の充実。

⑥キャリア教育（進路指導）の充実を図る。

（２）安心安全な学習環境整備の推進及び校内緑化の推進

①学校安全計画、学校保健計画に基づく学習活動の実践。

②毎月の安全点検の確実な実施。

③児童生徒に係る緊急シミュレーションの実施及び見直し。

④医療的ケア実施委員会の毎月の実施及び情報交換、意見交換の実施。

⑤医教連絡会の毎月の実施及び情報交換、意見交換の実施。

⑥防災（地震・火災）避難訓練や不審者侵入対策訓練の実施、対策の見直。

⑦学校緑化計画に基づく活動の推進。

（３）保護者及び関係機関とのさらなる連携の強化

①居住地交流や交流及び共同学習の推進。

②保護者の学校行事、学習活動への参画の推進。

③学校教育段階から卒業後を見据え、生涯学習への意欲を高める指導や社会教育との連携を図った教育活動の推進。

④名護療育医療センター職員及び各種専門家の積極的な活用。

（４）教職員の資質向上を図る研修の充実

①児童生徒の「生きる力」を育成する指導体制の構築に係る校内研修の充実。

②学習指導要領を踏まえた基礎・基本事項の再確認及び実践。

③学校内人材育成（OJT）の促進。

④教材教具の工夫改善、ICT 機器の積極的な活用を推進。

⑤特別支援教育のセンター的機能の充実。

（５）開かれた学校づくりの推進

①保護者会及び地域社会における児童生徒の「生きる力」の育成を図る活動の拡充。

②学校評価を踏まえ教育活動等の改善を図る。

③ホームページや各種便りを通して、情報提供に努める。

４　教育課程編成の基本方針

教育課程は、学校全体で組織的、継続的に児童生徒に教育活動を実践するために必要な教育計画である。学校が教育活動を進めていく基本となるものである。

教育課程の編成に関して、下記の事項に留意する。

（１）学習指導要領及び教育関係法令、本県の教育施策等に基づいた教育課程を編成する。

（２）児童生徒が可能な限り自立し社会参加する「生きる力」を育成する教育課程を編成する。

（３）準ずる教育・下学年代替、知的障害教育代替、自立活動を主とする教育を基本に児童生徒の実態を考慮し、弾力的に編成する。

（４）交流及び共同学習、居住地交流を教育課程に位置づけ編成する。

（５）保健・安全教育、図書教育を教育課程に位置づけ編成する。

（６）道徳は、全体計画を作成し教育活動全体を通して道徳教育を展開する。

（７）各教科等の授業は、小・中学部年間 35 週（小学部 1 学年は 34 週）以上に行うよう、また高等部は年間 35 週を標準として計画する。週時数や年間総時数は、小学校、中学校、高等学校及び県から示される通知に準じて確保する。

（８）１単位時間については、小学部 45 分、中学部及び高等部は 50 分を標準とする。

（９）中学部、高等部の休み時間は、5 分とし、移動や休息の時間とする。排泄等については、生徒の発達段階に応じて定時に指導する。また、要求伝達の力の伸長を図るために、時・場所・場合（TPO）に応じて生徒自らの意思表示により対応する。

（10）訪問学級の時間数は、対象児童生徒一人につき、小・中学部週 3 回 6 時間、高等部週 4 回 8 時間を標準として教育課程を編成する。

（11）保護者の願い、職員構成、地域環境、学校施設・設備の状況を考慮した教育課程の編成に努める。

（12）児童生徒の実態に応じて、年度途中から別の指導形態への移行も考慮する。

Ⅲ

学 校 運 営

2 職員構成

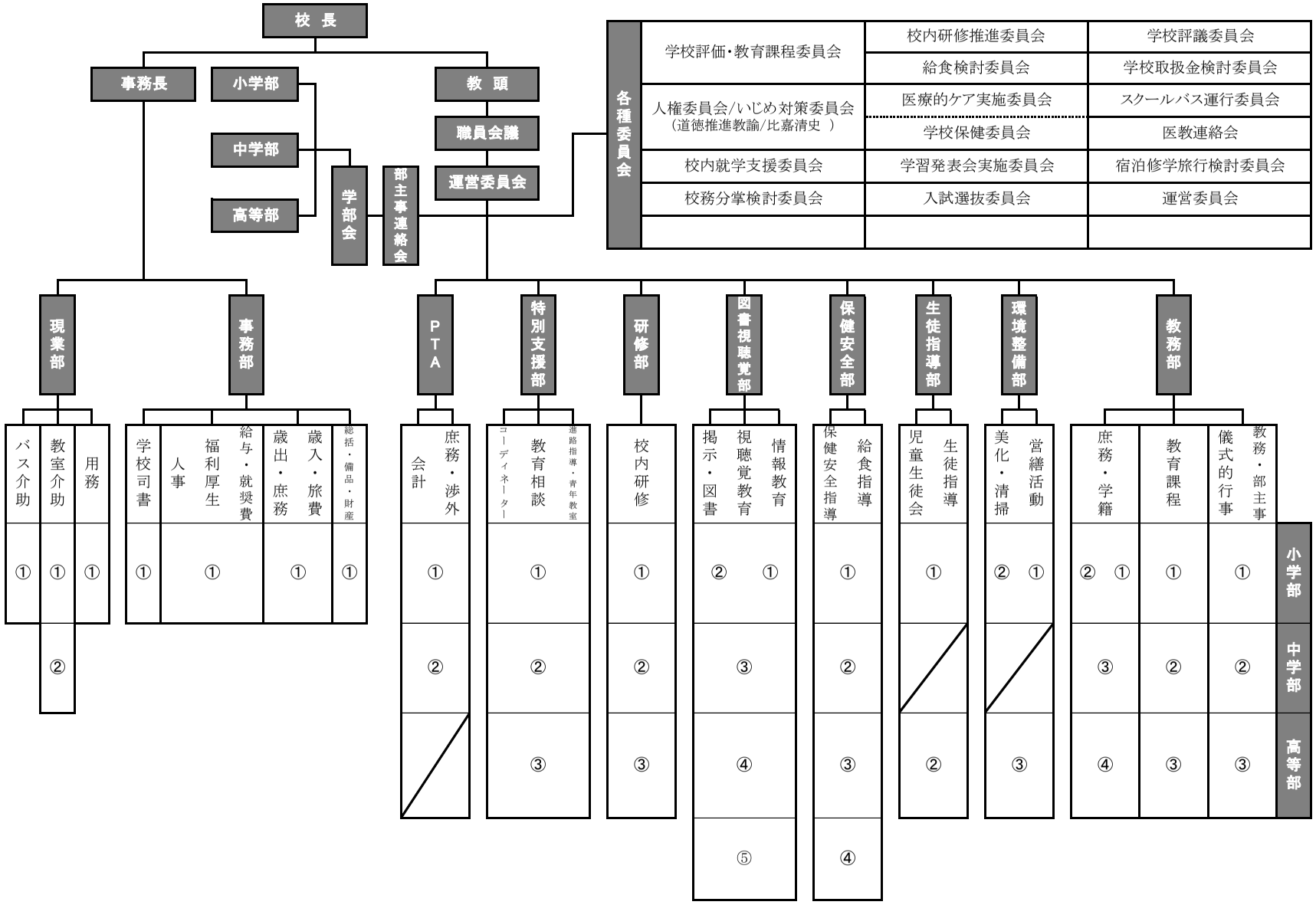
	校長	教頭	事務長	教諭			充主事	養護教諭	事務	司書	バス介助員	教室介助員	賃金介助員	用務員	嘱託看護師	学校医	薬剤師	合計
				小	中	高												
男	1		1	4	3	4			2		1					1		17
女		1		9	5	5		1		1		1	1	1	4	1	1	31
計	1	1	1	13	8	9	0	1	2	1	1	1	1	1	4	2	1	48

2-2 職員一覧表

No	職名	氏名	教科等
1	校長	①	
2	教頭	①	
3	事務長	①	
4	小学部教諭	①	
5		②	
6		③	（補充）
7		④	
8		⑤	
9		⑥	（補充）
10		⑦	
11		⑧	（補充）
12		⑨	
13		⑩	
14		⑪	
15		⑫	
16		⑬	（加配）
17	中学部教諭	①	数学
18		②	保体
19		③	美術
20		④	音楽
21		⑤	英語
22		⑥	国語
23		⑦	英語（コーディネーター加配）
24		⑧	社会（定臨）

No	職名	氏名	教科等
25	高等部教諭	①	家庭科
26		②	数学
27		③	音楽
28		④	保体
29		⑤	工業
30		⑥	国語
31		⑦	地歴（加配）
32		⑧	化学（加配）
33		⑨	生物（再任用）
34	養護教諭	①	
35	事務主事	①	
36	事務主事	②	新採
37	司　書	①	定臨
38	バス介助員	①	定臨
39	教室介助員	①	定臨
40	教室介助員	②	会計年度任用職員
41	用 務 員	①	会計年度任用職員
42	看護師	①	会計年度任用職員
43	看護師	②	会計年度任用職員
44	看護師	③	会計年度任用職員
45	看護師	④	会計年度任用職員
46	学 校 医		名護療育医療センター
47	学校歯科医		オアシス歯科
48	学校薬剤師		名護療育医療センター

R6 学校運営組織図


校　長
事務長
小学部
中学部
高等部
教　頭
職員会議
運営委員会
学部会
部主事連絡会
各種委員会
学校評価・教育課程委員会
校内研修推進委員会
学校評議委員会
給食検討委員会
学校取扱金検討委員会
人権委員会/いじめ対策委員会
（道徳推進教諭/比嘉清史 ）
医療的ケア実施委員会
スクールバス運行委員会
学校保健委員会
医教連絡会
校内就学支援委員会
学習発表会実施委員会
宿泊修学旅行検討委員会
校務分掌検討委員会
入試選抜委員会
運営委員会
現業部
バス介助
教室介助
用務
事務部
学校司書
人事
給与・就奨費
福利厚生
歳出・庶務
歳入・旅費
総括・備品・財産
PTA
庶務・渉外
会計
特別支援部
コーディネーター
教育相談
道路指導・青年教室
研修部
校内研修
図書視聴覚部
掲示・図書
視聴覚教育
情報教育
保健安全部
保健安全指導
給食指導
生徒指導部
児童生徒会
生徒指導
環境整備部
美化・清掃
営繕活動
教務部
庶務・学籍
教育課程
儀式的行事
教務・部主事
小学部
中学部
高等部

4 校務分掌内容

部	係　名	校　務　分　掌　内　容	担当者指名
教務部	総括	・校務分掌全般の調整	教頭
	教務	・家庭訪問の計画 ・対外的な調査物の処理（各担当への依頼含む） ・長期休業中の管理計画書の作成 ・転出・入学、編入学、休学、退学等の事務及び関係書類の整理保管（学籍） ・学校評価に関すること	教頭
		・学校運営に関する発足資料の作成 ・突発的な交流教育の調整 ・各学部・各分掌部との連絡調整 ・年間、月、週行事及び日々の日程調整 ・週番割り振り ・新入生オリエンテーションの企画運営 ・卒業、修了認定に関する資料作成 ・児童生徒名簿作成 ・教育計画・学校要覧の作成 ・名護療育医療センターとの連絡調整 ・居住地校交流に関すること ・介護等体験、インターンシップ受け入れに関すること	小学部主事 中学部主事 高等部主事
	儀式的行事	・入学式、修了式、卒業式の企画及び推進 ・始業式、終業式、就任式、離任式の企画及び推進	
	教育課程	・年間指導計画の作成の推進 ・個別の指導計画の作成の推進 ・教育課程の評価及び調査研究 ・教育課程の編成の推進 ※編成に係わる日程調整や会議の設定も含む ・教育課程実施報告書に関すること ※教務と調整の上、役割分担や各提出物の処理も含む ・学校評価に関すること	小学部　１名 中学部　１名 高等部　１名
	学籍	・諸表簿（出席簿、指導要録、通知表、卒業・修了台帳）に関すること ・修了及び卒業認定の資料作成 ・学籍に関する金庫の文書整理・廃棄	
	庶務	・教育支援システムの管理運営 ・教材費の請求と処理 ・儀式的行事、学校運営に関する掲示物の作成 ・来年度の掲示物の作成 （週番、備品、週･月予定表、組織図） ・学校備品の購入計画と点検の呼びかけ及び確認 ・教科書事務（教科書無償給与事務の処理） ・転学時の教科書手続き（教科書給与証明書の発行） ・奨学金関係（高等部） ・共済会関係 **※各学部の学部分掌で行う内容を含む**	小学部　２名 中学部　１名 高等部　１名
環境整備部	校内美化 全体清掃 営繕活動 学習環境整備	・営繕に関する計画点検及び実施 ・学校緑化計画及び実施 ・学校花壇の整備計画 ・校舎内外の整備計画 ・学習環境整備（教材保管場所の割り当て） ・清掃分担区域の割り当て ・全体清掃の計画 ・清掃用具の点検及び購入 ・ゴミの分別処理 ・台風対策、台風通過後の片付けや清掃計画	小学部　２名 高等部　１名 事務・現業 ３名

部	係　名	校　務　分　掌　内　容	担当者指名
生徒指導部	生活指導 児童生徒会	・休暇中の生活指導に関すること ・家庭との連携 ・児童生徒の生活指導の計画及び実施 ・児童生徒会活動に関すること ・人権教育に関すること	小学部　１名 高等部　１名
保健安全部	保健指導 安全指導 給食指導	・安全教育の計画と推進 ・防火・防災計画の作成と推進 ・校舎内外の安全点検 ・避難訓練（防災、不審者侵入）、消火訓練の計画と実施 ・学校保健計画の作成と推進 ・健康診断・健康相談等の計画及び実施、事後措置に関すること ・環境衛生に関すること ・医教連絡会への参加 ・遊具の清拭についての役割分担及び運営 ・名護療育医療センターとの連携（病棟の申し送り含む） ・救急処置及び救急体制、シミュレーションに関すること ・医療的ケアに関すること ・給食について名護特支との連絡調整 ・給食指導に関すること ・プールの管理・運営	小学部　１名 中学部　１名 高等部　１名 養護教諭
図書・視聴覚部	視聴覚教育 情報教育 図書教育	・視聴覚機器の管理 ・パソコン等情報機器の管理・運営 ・校内 LAN（セキュリティー対策）の管理 ・学校ホームページの管理 ・その他情報教育に関すること ・図書資料を活用した各行事（平和学習、読書月間等）の企画・運営 ・読書感想文・画コンクールに関すること ・図書の紹介　・掲示物の活用と管理 ・研修会への参加 ・移動図書館との連絡調整（利用計画等を含む） ・外部ポスターの仕分け（図書係）	小学部　２名 中学部　１名 高等部　１名 学校司書
研修部	研修	・校内研修計画と推進 ・研修内容及び研修資料の整理・保管 ・研究集録の編集及び刊行 ・職員研修（全体研修）の計画及び実施 ・県内外研修の推進（九肢研・全肢研を含む） ・九肢研の学校委員 ・研修に関する季刊誌の紹介（発注・配付等） ・名護療育医療センターと連携した研修に関すること ・校内研修の地域への呼びかけ ・高専との連携窓口	小学部　１名 中学部　１名 高等部　１名
特別支援部	教育相談 ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	・「個別の教育支援計画」の作成と評価および引き継ぎに関すること ・教育相談及び就学指導に関すること ・児童生徒の実態及び諸検査に関すること ・個人記録簿に関すること ・名護療育医療センターリハビリテーション科との情報交換および児童生徒の指導に関すること（姿勢指導等） ・地域との連携に関すること（「学校概要説明会」実施等） ・センター的役割（教育相談、巡回相談、学校見学等）に関すること ・モニタリング会議の推進および資料の整理と保管 ・青年教室に関すること	小学部　１名 中学部　１名 高等部　１名
	進路指導	・進路指導年間計画の作成及び進路情報の発行 ・福祉事業所見学会の計画・実施 ・就業体験、生活体験学習の計画・実施 ・沖特進研に関すること ・「個別の移行支援計画」の作成、評価および引き継ぎに関すること	

部	係　名	校　務　分　掌　内　容	担当者名
ＰＴＡ	庶務 渉外 会計	・ＰＴＡ活動の計画　・ＰＴＡ名簿の作成 ・ＰＴＡ関係及び地域団体との渉外 ・ＰＴＡ関係及び地域団体への公文の発送 ・各種募金の取り扱い（学校間は教頭） ・沖縄県肢体不自由 PTA 連合会に関すること ・沖縄県特別支援学校 PTA 協議会に関すること ・スペシャルオリンピックスの世話 ・ＰＴＡ会費の徴収 ・ＰＴＡ予算案及び決算書の作成	小学部　１名 中学部　１名
現業部	介助員	・スクールバス運行計画 ・スクールバスの整備及び維持管理に関すること ・校外学習送迎に伴う乗務員・運行調整 ・スクールバス内の児童生徒の介助及び安全管理に関すること ・スクールバスの清掃､その他スクールバスに関すること ・児童生徒の介助、おむつ、おしぼりの準備、片付け ・二階、三階のトイレ清掃 ・校舎内外の環境整備に関すること ・施設設備の営繕に関すること	バス介助員 １名 教室介助員 ２名
	用務	・校内清掃・美化　・湯茶の接待 ・靴箱の清掃及び来客用スリッパの管理 ・印刷物の世話　・学校の環境整備に関すること ・その他必要と認められること	用務　１名
事務部	総括 財産	・学校事務の総括 ・財産及び施設に関すること ・出納業務に関すること ・公印の取り扱いに関すること	事務　１名
	歳入･歳出 旅費 庶務 備品	・歳入に関すること（施設借用含む） ・教職員住宅に関すること ・歳出に関すること ・出納事務の整理に関すること ・旅費に関すること　・公務使用自家用車届の整理保管 ・出勤簿の整理に関すること ・文書等の収受、配布及び発送に関すること ・切手等の受け払いに関すること ・児童生徒の諸証明等に関すること ・職員からの諸願等、その他庶務に関すること ・備品に関すること	事務　１名
	就学奨励費 給与 人事 福利厚生	・就学奨励費に関すること ・報償費、賃金に関すること ・給与、諸手当の認定等に関すること ・給与証明等に関すること ・人事に関すること　・履歴書の整理保管に関すること ・公立学校共済組合に関すること ・公務災害に関すること	事務　１名
	図書司書	・図書室予算に関する計画及び執行 ・図書便りの発行・図書室の管理 ・図書行事に関すること（平和学習会・読み聞かせ会） ・名護市立図書館（移動図書館がじまる号）との連絡調整	司書　１名

5 各種会議・委員会等

委員会	職　務　内　容	委　員
職員会議	・職員会議は、校長が主宰する ・職員会議は、校長が必要と認めた校務について審議し、職員相互の伝達、連絡調整を行うものとする ・校長は、その職務を補助するため職員会議を置く	全職員
運営委員会	・職員の代表として、職員会議に提案する議題の審議 ・職員会議から付託された事項の処理 ・職員会議で審議する必要のない簡単な事項の審議及び処理 ・緊急な事項の審議及び処理 ・月行事の確認 ・各部からの名護療育医療センターに関する諸問題の吸い上げ及び解決策の話し合い ・医教連絡会への議事の審議	校長 ＊教頭 事務長 ＊教務　各部主事 各校務分掌主任 職員会議提案者 医教連絡会提案者
部主事連絡会	・各部間の連絡調整 ・学校行事等の連絡調整 ・その他提出物の確認等	校長 教頭 事務長 ＊教務、各部主事 ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ 養護教諭
校内就学支援委員会	・就学指導に関すること ・校内就学指導についての判定資料作成及び判定 ・県及び地区就学指導委員会との連絡調整 ・転退学に関すること ・個人記録簿の提供	校長 教頭 各部主事 ＊ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ 関係職員
医教連絡会	・児童生徒の指導に関すること ・学校、名護療育医療センターの行事に関すること ・その他、名護療育医療センターとの連絡調整	校長 教頭 ＊各部主事 保健安全部 養護教諭 支援部代表 名護療育医療ｾﾝﾀｰ代表
学校保健委員会	・児童生徒の保健管理に関すること ・学校保健・安全計画の実施及び評価に関すること ・家庭、地域との連携 ・体力の増進、食生活に関すること ・児童生徒のよりよい学習環境の整備に関すること ・安全な学校の維持・管理に関すること	校長 ＊教頭 事務長 各部主事 ＊保健主事 ＊養護教諭 環境整備主任 ＰＴＡ会長・副会長 学校医・薬剤師
教育課程委員会・学校評価	**・カリキュラムマネジメントに関する内容の検討** ・年間指導計画様式の検討及び調整 ・個別指導計画様式の検討及び調整 ・学校評価（内部、外部、保護者、児童生徒）の様式の検討及び調整 ・学校評価結果の分析及び対応策の検討及び調整 ・教育課程編成計画の作成 ・教育課程の検討及び調整	校長 ＊教頭 事務長 ＊教務、各部主事 ＊教育課程係

入学選抜委員会	・入学者選抜実施要項の作成 ・入学者選抜実施要項説明会の実施 ・入学志願書類の受付 ・合否判定資料の作成 ・新入生ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝの実施及び入学手続きに関すること ・その他入試に関すること	校長 教頭 教務主任 高等部主事 ＊入試係 養護教諭
いじめ対策委員会 人権委員会	・人権意識の啓発 ・事件・事故等の対応 ・人権に関する資料・情報の提供 ・保護者や地域社会との連携を取り、個性尊重及び人権意識の高揚を図る ・セクハラ・パワハラに関すること ・いじめに関すること（いじめ対策委員会を兼ねる）	校長 ＊教頭 事務長 ＊生徒指導主任 各部主事 養護教諭
校務分掌検討委員会	・校務分掌の反省 ・分掌の人数割り振り、希望調査、担当者配置 ・組織図に関すること ・部の設置と内容に関すること ・委員会に関すること ・その他校務分掌に関すること	教頭 ＊教務 学部主事 各校務分掌主任
医療的ケア実施委員会	・医療的ケア実施に係る看護師を含む職員の研修に関すること ・対象児童生徒等に係る調書等の作成に関すること ・医療的ケアの実施計画の策定に関すること ・保護者等との連絡調整に関すること ・業務報告の作成・提出に関すること ・当該事業の適切かつ安全な実施のため必要と認められること ・その他	校長 ＊教頭 事務長　学校医 養護教諭 保健主事 各部主事　看護師 児童生徒担当 ※研究主任、ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰは必要に応じて
	（小委員会） ・委員会の効率的機能を図るため設置。 ・医療的ケア体制整備の適正かつ安全な実施のため必要と認められる事項。	校長 ＊教頭 養護教諭 保健主事 各部主事（看護師） 児童生徒担当
学校評議員会	・地域や保護者の意向の把握 ・保護者や地域住民等の協力を得る ・校長の学校運営を支援	校長 ＊教頭 事務長 評議員４名 学部主事 全職員（希望者）
学校取扱金検討委員会	・「学校徴収金」扱いとする経費について ・「学校徴収金審議依頼書」についての審議 ・徴収目的・徴収金額について審議・検討し徴収金を決定する ・学校徴収金一覧表を作成する。	校長 ＊教頭 事務長 PTA会長（保護者代表） 部主事 各学部教材費担当
校内研修推進委員会	・校内研修計画及び研修内容に関すること ・経年研に関すること ・研修（校内、校外、県外）の推進に関すること ・九肢研に関すること	校長 教頭 各学部主事 ＊研修部主任 各経年研該当者

スクールバス運行委員会	・スクールバス運行規定の見直しと確認 ・スクールバス利用児童生徒の登下校に関する確約書の確認 ・当該年度のスクールバス運行経路及び運行表の作成と確認	校長 ＊教頭 事務長 バス部
学習発表会実施委員会	・学習発表会実施に関すること ・各演技内容に関すること ・練習日程の調整と確認 ・緊急時対応に関すること	校長 教頭 事務長 ＊学習発表会総務 各部主事 各学部演技責任者
宿泊修学旅行検討委員会	・宿泊学習及び修学旅行の計画に関すること ・旅行条件書の精査 ・予算に関すること（次年度以降の計画・調査を含む） ・旅行業者の決定及び調整に関すること	校長 教頭 事務長 ＊宿泊・修学旅行係 各部主事

Ⅳ

教 育 課 程

1 小学部

（1） 小学部の教育目標

① 丈夫で明るい子
② 思いやりのある心豊かな子
③ 感情表現が豊かな子
④ みんなとかかわりが持てる子
⑤ 自ら学ぶ子

（2） 教育課程の編成方針

① 児童の障害の状態や特性および心身の発達の段階等を考慮し、学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の見方・考え方を生かし、教科等横断的な視点から教育課程を編成する。
② 児童の実態に応じて教育内容を精選し、系統的・発展的な指導ができるように編成する。
③ 保護者や学校内人材、名護療育医療センター及び福祉等の関係機関、地域社会との連携を密にし、弾力的に運用できるように編成する。
④ 個別の教育支援計画や個別の指導計画、各教科等の年間指導計画を活用し、指導の充実が図れるよう編成する。
⑤ 自立活動については、指導計画（流れ図）を作成し、実態把握から具体的な指導内容を設定して、指導の充実が図れるよう編成する。

（3） 各教科等の指導の重点（通学生・訪問教育）

【Ⅰ課程：小学校の当該学年に準ずる教育課程】

① 各教科

国語

ア 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
イ 日常生活における人との関わりの中で、伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
ウ 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

社会（第３学年以上）

ア 社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
イ 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握したりして、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
ウ 社会的事象について、多角的な思考や理解を通して、国際社会で主体的に生きるために必要な能力や態度を養う。

算数

ア 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。
イ 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力、数学的な表現を用いて事象を表す力を養う。
ウ 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを進んで生活や学習に活用しようとする態度を養う。

理科（第３学年以上）

ア　自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

イ　観察・実験を通して、問題解決の力を養う。

ウ　自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

生活（第１・２学年）

ア　活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。

イ　身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。

ウ　身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしようとする態度を養う。

音楽

ア　曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

イ　音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。

ウ　音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

図画工作

ア　対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。

イ　造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

ウ　つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

家庭（第５・６学年）

ア　家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識と技能を身に付けるようにする。

イ　日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。

ウ　家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

体育

ア　その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。

イ　運動や健康について自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

ウ　児童の実態に応じた運動の経験を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、自ら身体を動かそうとする意欲を養うとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

外国語（第５・６学年）

ア　外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。

イ　コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読むことや、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

ウ　外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

② 道徳科

ア　自分の特徴に気付き、長所を伸ばしたり、自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度ある生活をしたりすることができるようにする。

イ　思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にしたり、日々の生活が家族や多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えたりしようとすることができるようにする。

ウ　自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重することができるようにする。

エ　法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすことができるようにする。

オ　家庭や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい家庭生活や学校生活をつくるとともに、集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めることができるようにする。

カ　我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことができるようにする。

キ　生命が多くの生命体のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重することができるようにする。

③ 外国語活動（第３・４学年）

ア　外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。

イ　身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。

ウ　外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

④ 総合的な学習の時間（第３学年以上）

ア　探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解できるようにする。

イ　実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

ウ　探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

⑤　特別活動

ア　多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

イ　集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

ウ　自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

⑥　自立活動

ア　日常生活を行うために必要な健康状態の維持・改善を図る。

イ　自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する意欲の向上を図り、自己のよさに気付くことができるようにする。

ウ　自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を培う。

エ　感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できるようにする。

オ　日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができるようにする。

カ　場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができるようにする。

【Ⅱ－Ａ・Ｂ課程：知的障害特別支援学校代替の教育課程】

①　各教科

生活

ア　活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。

イ　自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現しようとすることができるようにする。

ウ　自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。

国語

ア　日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。

イ　日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。

ウ　言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。

算数

ア　数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。

イ　日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。

ウ　数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、 算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

音楽

ア　曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な音楽遊び、歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。

イ　感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。

ウ　音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

図画工作

ア　形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができるようにする。

イ　造形的なよさや美しさ､表したいことや表し方などについて考え､発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。

ウ　つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

体育

ア　児童の実態に応じた遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付けるようにする。

イ　遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気付き、基本的な運動に慣れ、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を養う。

ウ　遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

② 道徳科

ア　自分の特徴に気付き、長所を伸ばしたり、自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度ある生活をしたりすることができるようにする。

イ　相手のことを思いやり、進んで親切にしたり、家族など生活を支えてくれている人々に感謝の気持ちをもって接したりすることができるようにする。

ウ　自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすることができるようにする。

エ　法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすことができるようにする。

オ　家庭や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい家庭生活や学校生活をつくるとともに、集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めることができるようにする。

カ　我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことができるようにする。

キ　生命が多くの生命体のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重することができるようにする。

③ 外国語活動

ア　外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。

イ　身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。

ウ　外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニ

ケーションを図ろうとする態度を養う。

④　特別活動

ア　多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

イ　集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

ウ　自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

⑤ 自立活動

ア　生命を維持し、日常生活を行うために必要な健康状態の維持・改善を図る。

イ　自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する意欲の向上を図り、自己のよさに気付くことができるようにする。

ウ　自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を培う。

エ　感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できるようにする。

オ　日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができるようにする。

カ　場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができるようにする。

【Ⅱ－Ｃ課程：知的障害特別支援学校代替の教育課程】

①　各教科

生活

ア　活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。

イ　自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然との関わりについて関心をもち、感じたことを伝えようとする。

ウ　自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心をもち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとする態度を養う。

国語

ア　日常に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。

イ　言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。

ウ　言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。

算数

ア　数量や図形などについての基礎的･基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。

イ　日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じる力、数学的な表現を用いて柔軟に表したりする力を養う。

ウ　数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

音楽

ア　音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。

イ　音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。

ウ　音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。

図画工作

ア　形や色などに気付き、教師と一緒に材料や用具を使おうとするようにする。

イ　表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。

ウ　進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

体育

ア　教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。

イ　体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。

ウ　簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。

② 道徳科

ア　あいさつなどの基本的な生活習慣を身に付けられるようにする。

イ　家庭、学校、地域社会との関わりの中で、様々な経験活動を行い、豊かな心を育てる。

ウ　様々な人との関わりを通して感謝の気持ちを育て、自分の思いを表現することができるようにする。

エ　校内外の散策や活動を通して自然や季節を感じ、自然を愛する心情を育てる。

③ 外国語活動

ア　外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。

イ　身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。

ウ　外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

④ 特別活動

ア　基本的な生活習慣や、約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、生活をよりよくするための目標を決めて実行すること。

イ　異年齢集団による活動において、学年や学級が異なる児童と共に楽しく触れ合い、交流を図ること。

ウ　全校又は学部を単位として、体験的な活動を行うことを通して、集団への所属感を深めること。
エ　訪問教育では、自己の体調を整えて、リモートやスクーリングを通して学校行事等に参加し、集団や社会と関わる態度を養う。

⑤　自立活動
ア　生命を維持し、日常生活を行うために必要な健康状態の維持・改善を図る。
イ　自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する意欲の向上を図り、自己のよさに気付くことができるようにする。
ウ　自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を培う。
エ　感覚を有効に活用して、空間や時間などの概念を手掛かりにして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できるようにする。
オ　日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができるようにする。
カ　場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができるようにする。

※各教科等を合わせた指導の重点

生活単元学習（訪問教育のみ）
生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際的・総合的に学習できるようにする。

様式２ 小学部

①－１　授業日数表　Ⅰ課程・Ⅱ課程（通学生）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
１年	15	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	13	199
２年	16	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	13	200
３年	16	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	13	200
４年	16	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	13	200
５年	16	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	13	200
６年	16	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	10	197
備考													

①－２　訪問教育授業日数表　Ⅱ課程（自宅訪問生）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
１年	9	12	12	8	0	11	12	12	11	11	11	8	117
２年	9	12	12	8	0	11	12	12	11	11	11	8	117
３年	9	12	12	8	0	11	12	12	11	11	11	8	117
４年	9	12	12	8	0	11	12	12	11	11	11	8	117
５年	9	12	12	8	0	11	12	12	11	11	11	8	117
６年	9	12	12	8	0	11	12	12	11	11	11	6	115
備考	授業日数は週３日、授業時数は週６時間を標準とする。												

①－３　授業日数表　Ⅱ課程（センター訪問生）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
１年	15	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	13	199
２年	16	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	13	200
３年	16	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	13	200
４年	16	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	13	200
５年	16	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	13	200
６年	16	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	10	197
備考	授業日数は週５日、授業時数は週６時間を標準とする。												

様式３　　小学部　（　Ｉ　）課程

①　標準授業時数表

Ｉ課程（小学校の教育課程に自立活動を加えて編成）

教科等		１年		２年		３年		４年		５年		６年		備考
各教科	国語	272	8	280	8	210	6	210	6	175	5	175	5	
	社会					70	2	70	2	105	3	105	3	
	算数	136	4	175	5	175	5	175	5	175	5	175	5	
	理科					70	2	105	3	105	3	105	3	
	生活	102	3	105	3									
	音楽	68	2	70	2	70	2	70	2	42	1.2	42	1.2	
	図画工作	68	2	70	2	70	2	70	2	42	1.2	42	1.2	
	家庭									56	1.6	56	1.6	
	体育	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	保健を含む
	外国語									70	2	70	2	
小計		714	21	770	22	735	21	770	22	840	24	840	24	
道徳科		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
外国語活動						35	1	35	1					
総合的な学習の時間						70	2	70	2	35	1	35	1	
特別活動		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
自立活動		68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	
合計		850	25	910	26	980	28	1015	29	1015	29	1015	29	

様式３　　小学部　（訪問Ｉ）課程

①　標準授業時数表

訪問教育Ｉ課程（小学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成）

教科等		１年	２年	３年	４年	５年	６年	備考
各教科	国語	66.5	63	42	42	35	35	
	社会			17.5	17.5	24.5	24.5	
	算数	42	42	35	35	35	35	
	理科			17.5	17.5	24.5	24.5	
	生活	28	24.5					
	音楽	17.5	17.5	17.5	17.5	7	7	
	図画工作	17.5	17.5	17.5	17.5	7	7	
	家庭					14	14	
	体育	17.5	17.5	14	14	14	14	保健を含む
	外国語					14	14	
小計		189	182	161	161	175	175	
道徳科		7	7	7	7	7	7	
外国語活動				7	7			
総合的な学習の時間				14	14	7	7	
特別活動		7	7	7	7	7	7	
自立活動		7	14	14	14	14	14	
合計		210	210	210	210	210	210	

授業日数は週３日、授業時数は週６時間を標準とする。

様式３　　小学部（　Ⅱ　）課程
②　標準授業時数表
Ⅱ課程A類型（知的特別支援学校小学部の教育課程で編成）

教科等		1年		2年		3年		4年		5年		6年		備考
各教科	生活	170	5	175	5	140	4	140	4	140	4	140	4	
	国語	170	5	175	5	210	6	210	6	210	6	210	6	
	算数	136	4	175	5	210	6	245	7	245	7	245	7	
	音楽	51	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	
	図画工作	51	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	
	体育	51	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	保健を含む
計		629	18.5	682.5	19.5	717.5	20.5	752.5	21.5	752.5	21.5	752.5	21.5	
道徳科		17	0.5	17.5	0.5	17.5	0.5	17.5	0.5	17.5	0.5	17.5	0.5	
外国語活動						35	1	35	1	35	1	35	1	
特別活動		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
自立活動		170	5	175	5	175	5	175	5	175	5	175	5	
計		221	6.5	227.5	6.5	262.5	7.5	262.5	7.5	262.5	7.5	262.5	7.5	
合計		850	25	910	26	980	28	1015	29	1015	29	1015	29	

様式３　　小学部（訪問Ⅱ）課程
②　標準授業時数表
訪問教育Ⅱ課程A類型（知的特別支援学校小学部の教育課程を弾力的に編成）

教科等		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
各教科	生活	28	28	24.5	24.5	24.5	24.5	
	国語	35	35	35	35	35	35	
	算数	35	35	35	35	35	35	
	音楽	17.5	17.5	17.5	17.5	17.5	17.5	
	図画工作	17.5	17.5	17.5	17.5	17.5	17.5	
	体育	17.5	17.5	17.5	17.5	17.5	17.5	保健を含む
計		150.5	150.5	147	147	147	147	
道徳科		17.5	17.5	10.5	10.5	10.5	10.5	
外国語活動				10.5	10.5	10.5	10.5	
特別活動		7	7	7	7	7	7	
自立活動		35	35	35	35	35	35	
計		59.5	59.5	63	63	63	63	
合計		210	210	210	210	210	210	

授業日数は週３日、授業時数は週６時間を標準とする。

様式３　　小学部（　Ⅱ　）課程
②　授業時数表　（通学生）
Ⅱ課程Ｂ類型（知的特別支援学校小学部の教育課程で編成）

教科等		１年		２年		３年		４年		５年		６年		備考
各教科	生活	231.2	6.8	238	6.8	231	6.6	231	6.6	231	6.6	231	6.6	
	国語	102	3	105	3	140	4	140	4	140	4	140	4	
	算数	68	2	70	2	105	3	140	4	140	4	140	4	
	音楽	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	
	図画工作	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
	体育	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	保健を含む
計		571.2	16.8	588	16.8	651	18.6	686	19.6	686	19.6	686	19.6	
道徳科		6.8	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	
外国語活動						7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	
特別活動		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
自立活動		238	7	280	8	280	8	280	8	280	8	280	8	
計		278.8	8.2	322	9.2	329	9.4	329	9.4	329	9.4	329	9.4	
合計		850	25	910	26	980	28	1015	29	1015	29	1015	29	

様式３　　小学部（訪問Ⅱ）課程
②　標準授業時数表
訪問教育II課程B類型（知的特別支援学校小学部の教育課程を弾力的に編成）

教科等		１年	２年	３年	４年	５年	６年	備考
各教科	生活	24.5	24.5	21	21	21	21	
	国語	35	35	35	35	35	35	
	算数	35	35	35	35	35	35	
	音楽	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	
	図画工作	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	
	体育	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	保健を含む
計		126	126	122.5	122.5	122.5	122.5	
道徳科		7	7	7	7	7	7	
外国語活動				3.5	3.5	3.5	3.5	
特別活動		7	7	7	7	7	7	
自立活動		70	70	70	70	70	70	
計		84	84	87.5	87.5	87.5	87.5	
合計		210	210	210	210	210	210	

授業日数は週３日、授業時数は週６時間を標準とする。

様式３　　小学部（　Ⅱ　）課程
②　標準授業時数表
　　Ⅱ課程C類型（知的特別支援学校小学部の教育課程で編成）

教科等		1年		2年		3年		4年		5年		6年		備考
各教科	生活	197.2	5.8	238	6.8	266	7.6	266	7.6	266	7.6	266	7.6	
	国語	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	
	算数	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	
	音楽	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
	図画工作	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
	体育	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	保健を含む
計		435.2	12.8	483	13.8	511	14.6	511	14.6	511	14.6	511	14.6	
道徳科		6.8	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	
外国語活動						7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	
特別活動		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
自立活動		374	11	385	11	420	12	455	13	455	13	455	13	
計		414.8	12.2	427	12.2	469	13.4	504	14.4	504	14.4	504	14.4	
合計		850	25	910	26	980	28	1015	29	1015	29	1015	29	

様式３　　小学部（訪問Ⅱ）課程
②　標準授業時数表
　　訪問教育Ⅱ課程C類型（知的特別支援学校小学部の教育課程を弾力的に編成）

教科等		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
各教科	生活	10.2	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	
	国語	34	35	35	35	35	35	
	算数	34	35	35	35	35	35	
	音楽	3.4	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
	図画工作	3.4	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
	体育	3.4	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	保健を含む
計		88.4	91	91	91	91	91	
道徳科		6.8	7	3.5	3.5	3.5	3.5	
外国語活動				3.5	3.5	3.5	3.5	
特別活動		6.8	7	7	7	7	7	
自立活動		102	105	105	105	105	105	
計		115.6	119	119	119	119	119	
合計		204	210	210	210	210	210	

授業日数は週３日、授業時数は週６時間を標準とする。

様式１３　小学部〔　訪問Ⅱ課程〕

訪問教育Ⅱ課程Ｃ類型（知的特別支援学校小学部の教育課程を弾力的に編成）

③　標準授業時数表【各教科等を合わせた指導を含む】

		1年					2年					3年					4年					5年					6年					備考
		総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			
各教科	生活	10.5	0	10.5	生	10.5	10.5	0	10.5		10.5	10.5	0	10.5	生	10.5	10.5	0	10.5	生	10.5	10.5	0	10.5	生	10.5	10.5	0	10.5	生	10.5	
	国語	35	35	0	生	0	35	35	0		0	35	35	0	生	0	35	35	0	生	0	35	35	0	生	0	35	35	0	生	0	
	算数	35	35	0	生	0	35	35	0		0	35	35	0	生	0	35	35	0	生	0	35	35	0	生	0	35	35	0	生	0	
	音楽	3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5		3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	
	図画工作	3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5		3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	
	体育	3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5		3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	保健を含む
道徳科		7	0	7	生	7	7	0	7		7	3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	
外国語活動												3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	3.5	0	3.5	生	3.5	
特別活動		7	0	7	生	7	7	0	7		7	7	0	7	生	7	7	0	7	生	7	7	0	7	生	7	7	0	7	生	7	
自立活動		105	105	0	生	0	105	105	0		0	105	105	0	生	0	105	105	0	生	0	105	105	0	生	0	105	105	0	生	0	
合計	教科別の指導で行う時数		175					175					175					175					175				175				
	合わせた指導で行う時数			35					35					35					35					35					35		
	総時数	210					210					210					210					210					210				

【指導形態】

生活単元学習	35	35	35	35	35	35	
	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	
合計	35	35	35	35	35	35	

様式１３　小学部〔訪問Ⅱ課程〕

④【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

		１年	２年	３年	４年	５年	６年	備考
生活単元学習	生活	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	
	国語	0	0	0	0	0	0	
	算数	0	0	0	0	0	0	
	音楽	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
	図画工作	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
	体育	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
	道徳科	7	7	3.5	3.5	3.5	3.5	
	外国語活動			3.5	3.5	3.5	3.5	
	特別活動	7	7	7	7	7	7	
	自立活動	0	0	0	0	0	0	
	合計	**35**	**35**	**35**	**35**	**35**	**35**	

	生活							
	国語							
	算数							
	音楽							
	図画工作							
	体育							
	道徳科							
	外国語活動							
	特別活動							
	自立活動							
	合計	0	0	0	0	0	0	

	生活						
	国語						
	算数						
	音楽						
	図画工作						
	体育						
	道徳科						
	外国語活動						
	特別活動						
	自立活動						
	合計	0	0	0	0	0	0

各教科等を合わせた指導合計	35	35	35	35	35	35	

様式８　小学部
年間行事計画

学期	月日	曜日	行事名 種類	行事名 事項	時間配当 1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
一学期	4月8日	月	儀式的	1学期始業式		1	1	1	1	1	
	4月9日	火	儀式的	入学式	1	1	1	1	1	1	
	4月10日	水	健康安全・体育的	身体測定	1	1	1	1	1	1	
	6月6日	木	健康安全・体育的	火災避難訓練	1	1	1	1	1	1	
	7月19日	金	儀式的	1学期終業式	1	1	1	1	1	1	
	小計				4	5	5	5	5	5	
学期	月日	曜日	行事名 種類	行事名 事項	時間配当 1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
二学期	9月2日	月	儀式的	２学期始業式	1	1	1	1	1	1	
	10月3日	木	遠足・集団宿泊的	修学旅行					6	6	
	10月4日	金	遠足・集団宿泊的	修学旅行					4	4	
	10月18日	金	遠足・集団宿泊的	秋の遠足	5	5	5	5	5	5	
	11月5日	月	健康安全・体育的	地震・津波等防災避難訓練	1	1	1	1	1	1	
	11月17日	日	文化的	学習発表会	3	3	3	3	3	3	
	12月25日	水	儀式的	２学期終業式	1	1	1	1	1	1	
	小計				11	11	11	11	21	21	
学期	月日	曜日	行事名 種類	行事名 事項	時間配当 1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
三学期	1月6日	月	儀式的	３学期始業式	1	1	1	1	1	1	
	3月14日	金	儀式的	卒業式	2	2	2	2	2	2	
	3月19日	水	儀式的	修了式・離任式	1	1	1	1	1		
	小計				4	4	4	4	4	3	
合計					19	20	20	20	30	29	

様式９　小学部
その他特別活動の計画

１　小学部様式
児童会活動　年間予定時数

	学期	実施予定 回数	実施予定 内容（時数）	時間配当 1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
児童会活動	１学期	2	児童生徒会役員紹介(1) 児童生徒会オリジナル企画(1)	2	2	2	2	2	2	4/26 5/12
	２学期	1	学習発表会テーマ発表(1)	1	1	1	1	1	1	7/18
	３学期	2	児童生徒会役員選挙公示(1) 児童生徒会役員選挙(1)	2	2	2	2	2	2	1/10 2/7
	小計	5		5	5	5	5	5	5	
合計				5	5	5	5	5	5	

様式11小学部　年間総授業時数換算表

①　Ⅰ課程・Ⅱ課程（通学生）

事　項		授業時数					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
A 様式１０の学年別授業時数の学年末累計を転記		928	982	1045	1081	1069	1055
B A欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数		928	982	1045	1081	1069	1055
特別活動（学級活動等を除く）	C 様式８（年間行事計画)の時間配当の合計を転記	19	20	20	20	30	29
	D C欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数	19	20	20	20	30	29
	E 様式９（ その他特別活動の計画）の時間配当の合計を転記	5	5	5	5	5	5
	F E欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数	5	5	5	5	5	5
	G D 欄＋ F 欄の時数を記入	24	25	25	25	35	34
H B欄－F欄の時数を記入（年間総授業時数）		923	977	1040	1076	1064	1050

②　Ⅱ課程（自宅訪問生・センター訪問生）

事　項		授業時数					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
A 様式９の学年別授業時数の学年末累計を転記		210	210	210	210	210	210
B A欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数		210	210	210	210	210	210
特別活動（学級活動等を除く）	C 様式７（年間行事計画)の時間配当の合計を転記	19	20	20	20	30	29
	D C欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数	19	20	20	20	30	29
	E 様式８（ その他特別活動の計画）の時間配当の合計を転記	6	6	6	6	6	6
	F E欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数	6	6	6	6	6	6
	G D 欄＋ F 欄の時数を記入	29	26	26	26	36	35
H B欄－F欄の時数を記入（年間総授業時数）		204	204	204	204	204	204

2 中学部

(1) 中学部の教育目標

① 健康で明るい生徒
② 意思表示ができる生徒
③ 集団活動に参加できる生徒
④ 自己理解を深め、相手の気持ちを考えることができる生徒
⑤ 学習意欲をもち、自ら学ぼうとする生徒

(2) 教育課程の編成方針

① 生徒一人一人の障害の状態や発達段階及び特性等に応じて教育課程を編成し、生徒の実態に合わせて選択できるように配慮する。
② 生徒の実態に応じて教育内容を精選し、系統的・発展的な指導ができるように編成する。
③ 必要に応じて保護者や名護療育医療センター、地域社会、他学校との連携のもとに実施できるように編成する。
④ 個別の教育支援計画、個別の指導計画、各教科等の年間指導計画を活用し、指導の充実が図れるよう編成する。
⑤ 自立活動においては、指導計画（流れ図）を作成し、実態把握から具体的な指導内容を設定して、指導の充実が図れるよう編成する。

(3) 各教科等の指導の重点（通学生・訪問教育）

【Ⅰ課程：中学校の当該学年に準ずる教育課程】

① 各教科

国語

ア 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
イ 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
ウ 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

社会

ア 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
イ 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
ウ 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や自国および他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができるようにする。

数学

ア 数量や図形などについての基礎的な概念や原理･法則などを理解するとともに、事象を数学化し、数学的に解釈する技能を身に付けるようにする。
イ 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力を養う。
ウ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養う。

理科

ア　自然の事物についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

イ　観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

ウ　自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

音楽

ア　曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

イ　音楽表現を創意工夫することや，音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

ウ　音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽を愛好する心情を育むとともに，音楽に対する感性を豊かにし，音楽に親しんでいく態度を養い，豊かな情操を培う。

美術

ア　対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

イ　造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

ウ　美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

保健体育

ア　運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

イ　運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間のことを考えたことを他者に伝える力を養う。

ウ　運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなど意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

技術・家庭

ア　生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身に付けるようにする。

イ　生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。

ウ　よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

外国語

ア　外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。

イ　コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったり

することができる力を養う。
ウ　外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

② 道徳科
ア　望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活ができるようにする自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方ができるようにする。
イ　思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めることができるようにする。
ウ　法のきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にしようとする心を育てる。
エ　地域社会は家庭や学校とともに大切な生活の場であり、相互の交流を深め、好ましい人間関係を養い、様々な経験活動を通して将来の社会について考えることができるようにする。
オ　郷土や優れた伝統文化のよさについて理解を深め、自国の生活習慣や国際社会の文化を尊重する態度を養う。
カ　生命の尊さを考え、自らの弱さに気付き、それらを克服・改善しようとする心を育てる。

③ 総合的な学習の時間
ア　探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習ができるようにする。
イ　実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
ウ　探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

④ 特別活動
ア　多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることを理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
イ　集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
ウ　自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

⑤ 自立活動
ア　日常生活を行うために必要な健康状態の維持・改善を図る。
イ　自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する意欲の向上を図り、自己のよさに気付くことができるようにする。
ウ　自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を培う。
エ　感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できるようにする。
オ　日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができるようにする。
カ　場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができるようにする。

【Ⅱ－Ａ・Ｂ課程：知的障害特別支援学校代替の教育課程】

①各教科

国語

ア　日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

イ　日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う

ウ　言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。

社会

ア　身近な地域や市町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動、地域の産業と消費生活の様子並びに社会生活に必要なきまり、公共施設の役割及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、自分との関わりが分かるとともに、調べまとめる技能を身に付けるようにする。

イ　社会的事象について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う。

ウ　身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについて自覚を養う。

数学

ア　数量や図形などについての基礎的な概念や性質などを理解するとともに、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。

イ　日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭･的確に表現する力を養う。

ウ　数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

理科

ア　自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。

イ　観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予測や仮説を立てる力を養う。

ウ　自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。

音楽

ア　曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに，感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。

イ　感じたことを表現することや，曲や演奏の楽しさを見いだしながら，音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。

ウ　音や音楽に楽しく関わり，協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに，身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い，豊かな情操を培う。

美術

ア　造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。

イ　造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこ

と、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。

ウ　楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。

保健体育

ア　各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。

イ　各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。

ウ　各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。

職業・家庭

ア　生活や職業に対する関心を高め、体験的な活動を通して、将来の家庭生活や職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。

イ　将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う。

ウ　よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

外国語

ア　外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声などの基本的な表現に慣れ親しむようにする。

イ　身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして好みや要求などの自分の考えや気持ちを伝え合う力の素地を養う。

ウ　外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながら英語の語又は身振りや動作などでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

② 道徳科

ア　安全に気を付けることや生活習慣の大切さについて理解し、自分の特徴を知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けることができるようにする。

イ　思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にしたり、日々の生活が家族や多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝したり、それに応えようとしたりすることができるようにする。

ウ　法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすことができるようにする。

エ　家庭や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい家庭生活や学校生活をつくるとともに、集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めることができるようにする。

オ　我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことができるようにする。

カ　生命が多くの生命体のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重できるようにする。

③ 総合的な学習の時間

ア　自然体験や体験活動を通して、自ら課題を見付け、学び、考え、よりよく問題解決をする資質や能力を育てる。

イ　異文化理解学習を通して他国に対する興味や関心を深めるとともに、自国の文化や習慣についての知識を深める。

④ 特別活動

ア　多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることを理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

イ　集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

ウ　自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

⑤ 自立活動

ア　生命を維持し、日常生活を行うために必要な健康状態の維持・改善を図る。

イ　自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する意欲の向上を図り、自己のよさに気付くことができるようにする。

ウ　自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を培う。

エ　感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できるようにする。

オ　日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができるようにする。

カ　場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができるようにする。

【Ⅱ－Ｃ課程：知的障害特別支援学校代替の教育課程】

① 各教科

国語

ア　日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする

イ　日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。

ウ　言葉で伝え合う良さを感じるとともに、図書に親しみ、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。

社会

ア　豊かな体験を通して、身近な人との関わりに気付くことができるようにする。

イ　身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、関心をもつことができるようにする。

ウ　身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについて知る。

数学

ア　身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることについての技能を身に付けるようにする。

イ　身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする力を養う。

ウ　数量や図形に気付き、数学の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。

理科

ア　身の回りの生物や植物に気付き、注目し、諸感覚を協応しながら捉える力を養う。

イ　身の回りの生物や植物の様子から、主な差異点や共通点に気付き、感じたことを表情や発声、しぐさで表現することができるようにする。

ウ　自然を愛する心情を養うとともに、生命の大切さを感じることができるようにする。

音楽

ア　音や音楽に注意を向けて気付くとともに，関心を向け，音楽表現を楽しむために必要な身体表現，器楽，歌唱，音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。

イ　音楽的な表現を楽しむことや，音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。

ウ　音や音楽に気付いて，教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに，音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。

美術

ア　形や色などに気付き、教師と一緒に材料や用具を使うことができるようにする。

イ　幅広い活動を通して、諸感覚を協応させて創造体験を豊かにすることができるようにする。

ウ　つくりだす喜びを味わうとともに、楽しく豊かな情操を培う。

保健体育

ア　教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、動作性を高めることができるようにする。

イ　体を動かすことの楽しさや心地よさを表情や発声で教師に伝えることができるようにする。

ウ　簡単な合図を聞いて、楽しく運動したり、タッピングやマッサージを行い、筋弛緩を促し、心地よい生活を送ることができるようにする。

職業・家庭

ア　健康及び余暇の過ごし方を体験し、人との関わりを楽しむことができるようにする。

イ　さまざまな人との関わりを通して、自分の思いを表情や発声で表現することができるようにする。

ウ　よりよい生活を送るために自分に合った表現方法で、人との関わりを楽しもうとする態度を養う。

外国語

ア　英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞いて、音声やリズムに親しむことができるようにする。

イ　外国語の絵本や音楽に気付いて、見聞きしようとする。

ウ　外国語や外国の文化などに触れながら、コミュニケーションを楽しめるようにする。

② 道徳科

ア　あいさつなどの基本的な生活習慣を身に付ける。

イ　家庭、学校、地域社会との関わりの中で、様々な経験活動を行い、豊かな心を育てる。

ウ　様々な活動を通して感謝の気持ちを育て、積極的に人と関わろうとする態度を養う。
エ　校内外の散策や活動を通して自然や季節を感じ、自然を愛する心情を育てる。

③ 総合的な学習の時間
ア　体験活動を通して、興味・関心を高め、より生活を快適に過ごせるよう感情表出等ができるようにする。
イ　興味・関心を育て、自分から関わろう（聞こう、見よう、触ろう）とする態度を育てる。

④ 特別活動
ア　学校行事や生徒会活動、学級活動に参加できる健康な体を保つことができるようにする。
イ　地域の学校との交流及び共同学習や集団活動の中で、多様な人との関わりをもち、自分の思いを表現することができるようにする。
ウ　多様な活動を通して、積極的に人と関わろうとする態度を育てる。

⑤ 自立活動
ア　生命を維持し、日常生活を行うために必要な健康状態の維持・改善を図る。
イ　障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲の向上を図り、自己のよさに気付くことができるようにする。
ウ　自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を培う。
エ　感覚を有効に活用し、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりすることができるようにする。
オ　日常生活に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができるようにする。
カ　場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができるようにする。

（指導の形態として）
各教科等を合わせた指導
生活単元学習（訪問教育のみ）
ア　学校及び地域社会との交流、また、校内、校外での学習などを通して、生活経験を広げるとともに、多様な人との関わりをもつことができるようにする。
イ　季節行事、学校行事及び自然体験を通して、興味関心を引き出し、感情表出ができるようにする。
ウ　身の回りの生活に関わる制作活動に諸感覚を協応させて取り組むことができるようにする。

様式４　中学部

①　授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
１年	15	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	13	199
２年	16	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	13	200
３年	16	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	10	197
備考													

②　訪問教育授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
１年	9	12	12	8	0	11	12	12	11	11	11	8	117
２年	9	12	12	8	0	11	12	12	11	11	11	8	117
３年	9	12	12	8	0	11	12	12	11	11	11	6	115
備考	授業日数は週３日（月水金）、授業時数は週６時間を標準とする。												

様式５　中学部　（　Ⅰ　）課程

①　標準授業時数表

Ⅰ課程（中学校の教育課程に自立活動を加えて編成）

教科等			１年		２年		３年		備考
各教科	国語		140	4	140	4	105	3	
	社会		105	3	105	3	140	4	
	数学		140	4	105	3	140	4	
	理科		105	3	140	4	140	4	
	音楽		35	1	35	1	35	1	
	美術		35	1	35	1	35	1	
	保健体育		105	3	105	3	105	3	保健を含む
	技術・家庭	技術分野	35	1	35	1	17.5	0.5	
		家庭分野	35	1	35	1	17.5	0.5	
	外国語		140	4	140	4	140	4	
	選択教科		0	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	0	
小計			875	25	875	25	875	25	
道徳科			35	1	35	1	35	1	
総合的な学習の時間			35	1	35	1	35	1	
特別活動			35	1	35	1	35	1	
自立活動			35	1	35	1	35	1	
計			140	4	140	4	140	4	
合計			1015	29	1015	29	1015	29	

R6.4月時点で該当者なし

様式５　中学部　（訪問Ⅰ）課程

①　標準授業時数表

訪問教育Ⅰ課程（中学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成）

教科等			１年	２年	３年	備考
各教科	国語		28	28	28	
	社会		21	21	21	
	数学		28	28	28	
	理科		21	21	21	
	音楽		7	7	7	
	美術		7	7	7	
	保健体育		21	21	21	保健を含む
	技術・家庭	技術分野	7	7	7	
		家庭分野	7	7	7	
	外国語		21	21	21	
	選択教科		0	0	0	
			0	0	0	
			0	0	0	
小計			168	168	168	
道徳科			7	7	7	
総合的な学習の時間			7	7	7	
特別活動			14	14	14	
自立活動			14	14	14	
計			42	42	42	
合計			210	210	210	

授業日数は週３日（月水金）、授業時数は週６時間を標準とする。

R6.4月時点で該当者なし

様式５　中学部　（　ⅡＡ　）課程

②　標準授業時数表

ⅡＡ課程（知的特別支援学校中学部の教育課程で編成）

教科等			１年		２年		３年		備考
各教科	国語		105	3	105	3	105	3	
	社会		70	2	70	2	70	2	
	数学		105	3	105	3	105	3	
	理科		70	2	70	2	70	2	
	音楽		70	2	70	2	70	2	
	美術		70	2	70	2	70	2	
	保健体育		105	3	105	3	105	3	保健を含む
	職業・家庭	職業分野	70	2	70	2	70	2	
		家庭分野	70	2	70	2	70	2	
	外国語		70	2	70	2	70	2	
	選択教科		0	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	0	
小計			805	23	805	23	805	23	
道徳科			35	1	35	1	35	1	
総合的な学習の時間			35	1	35	1	35	1	
特別活動			35	1	35	1	35	1	
自立活動			105	3	105	3	105	3	
計			210	6	210	6	210	6	
合計			1015	29	1015	29	1015	29	

R6.4月時点で２・３年生該当者なし

様式５　中学部　（訪問ⅡＡ）課程

②　標準授業時数表

訪問教育ⅡＡ課程（知的障害中学部の教育課程を弾力的に編成）

教科等			１年	２年	３年	備考
各教科	国語		21	21	21	
	社会		14	14	14	
	数学		21	21	21	
	理科		14	14	14	
	音楽		14	14	14	
	美術		14	14	14	
	保健体育		21	21	21	保健を含む
	職業・家庭	職業分野	14	14	14	
		家庭分野	14	14	14	
	外国語		14	14	14	
	選択教科		0	0	0	
			0	0	0	
			0	0	0	
小計			161	161	161	
道徳科			7	7	7	
総合的な学習の時間			7	7	7	
特別活動			14	14	14	
自立活動			21	21	21	
計			49	49	49	
合計			210	210	210	

授業日数は週３日（月水金）、授業時数は週６時間を標準とする。

週６時間×３５週＝２１０時間

R6.4月時点で該当者なし

様式５　中学部　（　ⅡＢ　）課程

②　標準授業時数表

ⅡＢ課程（知的特別支援学校中学部の教育課程で編成）

教科等			１年		２年		３年		備考
各教科	国語		70	2	70	2	70	2	
	社会		70	2	70	2	70	2	
	数学		70	2	70	2	70	2	
	理科		70	2	70	2	70	2	
	音楽		70	2	70	2	70	2	
	美術		70	2	70	2	70	2	
	保健体育		70	2	70	2	70	2	保健を含む
	職業・家庭	職業分野	70	2	70	2	70	2	
		家庭分野	70	2	70	2	70	2	
	外国語		17.5	0.5	17.5	0.5	17.5	0.5	
	選択教科		0	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	0	
小計			647.5	18.5	647.5	18.5	647.5	18.5	
道徳科			17.5	0.5	17.5	0.5	17.5	0.5	
総合的な学習の時間			35	1	35	1	35	1	
特別活動			35	1	35	1	35	1	
自立活動			280	8	280	8	280	8	
計			367.5	10.5	367.5	10.5	367.5	10.5	
合計			1015	29	1015	29	1015	29	

R6.4月時点で１・３年生該当者なし

様式５　中学部　（訪問ⅡＢ）課程

②　標準授業時数表

訪問教育ⅡＢ課程（知的障害中学部の教育課程を弾力的に編成）

教科等			１年	２年	３年	備考
各教科	国語		14	14	14	
	社会		14	14	14	
	数学		14	14	14	
	理科		14	14	14	
	音楽		14	14	14	
	美術		14	14	14	
	保健体育		14	14	14	保健を含む
	職業・家庭	職業分野	14	14	14	
		家庭分野	14	14	14	
	外国語		3.5	3.5	3.5	
	選択教科		0	0	0	
			0	0	0	
			0	0	0	
小計			129.5	129.5	129.5	
道徳科			3.5	3.5	3.5	
総合的な学習の時間			7	7	7	
特別活動			14	14	14	
自立活動			56	56	56	
計			80.5	80.5	80.5	
合計			210	210	210	

授業日数は週３日（月水金）、授業時数は週６時間を標準とする。

週６時間×３５週＝２１０時間

R6.4月時点で該当者なし

様式５　中学部　（　ⅡＣ　）課程

②　標準授業時数表

ⅡＣ課程（知的特別支援学校中学部の教育課程で編成）

教科等			１年		２年		３年		備考
各教科	国語		70	2	70	2	70	2	
	社会		35	1	35	1	35	1	
	数学		70	2	70	2	70	2	
	理科		35	1	35	1	35	1	
	音楽		70	2	70	2	70	2	
	美術		35	1	35	1	35	1	
	保健体育		35	1	35	1	35	1	保健を含む
	職業・家庭	職業分野	8.75	0.25	8.75	0.25	8.75	0.25	
		家庭分野	8.75	0.25	8.75	0.25	8.75	0.25	
	外国語		8.75	0.25	8.75	0.25	8.75	0.25	
	選択教科		0	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	0	
小計			376.25	10.75	376.25	10.75	376.25	10.75	
道徳科			8.75	0.25	8.75	0.25	8.75	0.25	
総合的な学習の時間			35	1	35	1	35	1	
特別活動			35	1	35	1	35	1	
自立活動			560	16	560	16	560	16	
計			638.75	18.25	638.75	18.25	638.75	18.25	
合計			1015	29	1015	29	1015	29	

様式５　中学部　（訪問ⅡC）課程

②　標準授業時数表

教科等			１年	２年	３年	備考
各教科	国語		14	14	14	
	社会		7	7	7	
	数学		14	14	14	
	理科		7	7	7	
	音楽		14	14	14	
	美術		7	7	7	
	保健体育		7	7	7	保健を含む
	職業・家庭	職業分野	1.75	1.75	1.75	
		家庭分野	1.75	1.75	1.75	
	外国語		1.75	1.75	1.75	
	選択教科		0	0	0	
			0	0	0	
			0	0	0	
小計			75.25	75.25	75.25	
道徳科			1.75	1.75	1.75	
総合的な学習の時間			7	7	7	
特別活動			14	14	14	
自立活動			112	112	112	
計			134.75	134.75	134.75	
合計			210	210	210	

授業日数は週３日（月水金）、授業時数は週６時間を標準とする。

週６時間×３５週＝２１０時間

R6.4月時点で該当者なし

様式14　中学部（　訪問ⅡC　）課程　　R6.4月時点で該当者なし

訪問ⅡC課程（知的特別支援学校中学部の教育課程で編成）

①　標準授業時数表【各教科等を合わせた指導を含む】

			1年			2年			3年			備考
			総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	総時数	教科別の指導	合わせた指導	
各教科	国語		60	60	0	60	60	0	60	60	0	
	社会		4	0	4	4	0	4	4	0	4	
	数学		60	60	0	60	60	0	60	60	0	
	理科		4	0	4	4	0	4	4	0	4	
	音楽		4	0	4	4	0	4	4	0	4	
	美術		4	0	4	4	0	4	4	0	4	
	保健体育		4	0	4	4	0	4	4	0	4	保健も含む
	職業・家庭	職業分野	1	0	1	2	0	2	1	0	1	
		家庭分野	2	0	2	1	0	1	2	0	2	
	外国語		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	選択教科		0	0		0	0		0	0		
			0	0		0	0		0	0		
道徳科			4	0	4	4	0	4	4	0	4	
特別活動			4	0	4	4	0	4	4	0	4	
自立活動			59	59	0	59	59	0	59	59	0	
総合的な学習の時間			0			0			0			
合計	教科別の指導で行う時数			179			179			179		
	各教科等を合わせた指導で行う時数				31			31			31	
	総時数		210			210			210			

【指導形態】

生活単元学習	31	31	31	
	0	0	0	
	0	0	0	
合計	31	31	31	

授業日数は週３日（月水金）、授業時数は週６時間を標準とする。
週６時間×３５週＝２１０時間

様式14　中学部（Ⅱ課程）

②【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

			1年	2年	3年	備考
生活単元学習	国語		0	0	0	
	社会		4	4	4	
	数学		0	0	0	
	理科		4	4	4	
	音楽		4	4	4	
	美術		4	4	4	
	保健体育		4	4	4	
	職業・家庭	職業分野	1	2	1	
		家庭分野	2	1	2	
	外国語		0	0	0	
	道徳科		4	4	4	
	特別活動		4	4	4	
	自立活動		0	0	0	
	合計		31	31	31	

	国語					
	社会					
	数学					
	理科					
	音楽					
	美術					
	保健体育					
	職業・家庭	職業分野				
		家庭分野				
	外国語					
	道徳科					
	特別活動					
	自立活動					
	合計		0	0	0	

	国語					
	社会					
	数学					
	理科					
	音楽					
	美術					
	保健体育					
	職業・家庭	職業分野				
		家庭分野				
	外国語					
	道徳科					
	特別活動					
	自立活動					
	合計		0	0	0	

各教科等を合わせた指導合計		31	31	31	

様式８　中学部
年間行事計画

学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
一学期	4月8日	月	儀式的	１学期始業式	0	1	1	
	4月9日	火	儀式的	入学式	1	1	1	
	4月12日	金	健康安全・体育的	身体検査	1	1	1	
	6月6日	木	健康安全・体育的	火災避難訓練	1	1	1	
	7月19日	金	儀式的	１学期終業式	1	1	1	
	小計				4	5	5	
学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
二学期	9月2日	月	儀式的	２学期始業式	1	1	1	
	10月20日 ～10月22日	日～火	遠足・集団宿泊的	修学旅行（県外）	0	17	17	
	11月5日	火	健康安全・体育的	地震・津波等防災避難訓練	1	1	1	
	11月17日	日	文化的	学習発表会	3	3	3	
	12月25日	水	儀式的	２学期終業式	1	1	1	
	小計				6	23	23	
学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
三学期	1月6日	月	儀式的	３学期始業式	1	1	1	
	3月14日	金	儀式的	卒業式	2	2	2	
	3月19日	水	儀式的	修了式・離任式	1	1	0	
	小計				4	4	3	
合計					14	32	31	

様式９

その他特別活動の計画

１　中学部様式

生徒会活動年間予定時数

	学期	実施予定		時間配当			備考
		回数	内容（時数）	1年	2年	3年	
生徒会活動	１学期	2	児童生徒会役員紹介(1) 児童生徒会オリジナル企画(1)	2	2	2	
	２学期	1	児童生徒会 学習発表会テーマ発表(1)	1	1	1	
	３学期	2	児童生徒会役員選挙公示(1) 児童生徒会役員選挙(1)	2	2	2	
合計				5	5	5	

様式11 中学部

事　項		授業時数		
		1年	2年	3年
A 様式10の学年別授業時数の学年末累計を転記		1081	1068	1054
B A欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数		1081	1068	1054
特別活動（学級活動等を除く）	C 様式８（年間行事計画)の時間配当の合計を転記	14	32	31
	D C欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数	14	32	31
	E 様式９（ その他特別活動の計画）の時間配当の合計を転記	5	5	5
	F E欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数	5	5	5
	G D 欄＋ F 欄の時数を記入	19	37	36
H B欄－F欄の時数を記入（年間総授業時数）		1076	1063	1049

3 高等部

(1) 高等部の教育目標

① 健康で生き生きとすごせる生徒
② 自分の意思を伝えることができる生徒
③ 積極的に社会参加ができる生徒
④ 他者を尊重することができる生徒
⑤ 学習意欲をもち、自己の向上に努める生徒

(2) 教育課程の編成方針

① 生徒一人一人の障害の状態、発達段階及び特性を十分に考慮し、適切な教育課程を編成し、生徒の実態に応じた選択ができるように配慮する。
② 生徒の実態に応じて教育内容を精選し、系統的・発展的に指導できるように編成する。
③ 他学部、生徒本人、保護者、名護療育医療センターならびに地域社会の要望を考慮し編成する。
④ 個別の教育支援計画、個別の指導計画、年間指導計画、個別移行支援計画を活用し、指導の充実が図れるよう編成する。
⑤ 自立活動においては、「流れ図」を作成して目標を明確化し、指導の充実が図れるよう編成する。
⑥ 教科横断的な指導場面を計画的に実施し、社会生活に生きる実践的な知識と技能が身につくよう編成する。
⑦ 準ずる課程において、教科内の選択科目を設け、多様な進路選択に対応できるよう編成する。
⑧ 知的代替の課程において、各教科との関連性を重視した学習場面や校外学習を計画し、身に付けた知識が生活の中で発揮できるよう編成する。
⑨ 重度重複障害の生徒に対して可能な限り全教科の履修がかなうよう編成し、生活年齢やキャリア発達を加味した当該学部の目標の設定を見据えた教育課程を編成する。

(3) 各教科等の指導の重点

高等学校の当該学年または、下学年に準ずる教育課程（Ⅰ課程）

① 各教科

国語

ア 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
イ 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

ウ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

地理・歴史

ア 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切にかつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

イ 地理や歴史に関わる事象の意味や意義・特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論する力を養う。

ウ 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

公民

ア 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

イ 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会の参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

ウ よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

数学

ア 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

イ 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

ウ 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評

価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

理科

ア 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

イ 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

ウ 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。

体育

ア 運動の合理的な実戦を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かなに実戦することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

イ 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

ウ 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

保健

ア 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

イ 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

ウ 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

芸術

・音楽

ア 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

イ 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

ウ 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，音楽文化に親しみ，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

美術

ア 美術の幅広い創造活動を通して、対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

イ 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

ウ 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

外国語

ア 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

イ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

ウ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

家庭

ア 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

イ 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

ウ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

情報

ア 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。

イ 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

ウ 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

③ 総合的な探究の時間

ア 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

イ 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・ 分析して、まとめ・表現することができるようにする。

ウ 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

④ 特別活動

ア 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

イ 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

ウ 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、 自己実現を図ろうとする態度を養う。

⑤ 自立活動

ア 日常生活を行うために必要な健康状態の維持・改善を図る。

イ 自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する意欲の向上を図り、自己のよさに気付くことがで きるようにする。

ウ 自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を培う。

エ 感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できるようにする。

オ 日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができるようにする。

カ 場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができるようにする。

知的障害特別支援学校代替の教育課程（ⅡＡ・Ｂ課程）

① 各教科

国語

ア 日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

イ 日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

ウ 言葉がもつよさを認識するとともに、図書に親しみ、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。

社会

ア 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、身近な生活環境から考察し、理解するとともに、経験したことと関連付けて、調べまとめる技能を身に付けるようにする。

イ 社会的事象について、自分の生活と結び付けて具体的に考え、社会との関わりの中で選択・判断したことを適切に表現する力を養う。

ウ 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。

数学

ア 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

イ 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。

ウ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。

理科

ア 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。

イ 観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。

ウ 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに

活かそうとする態度を養う。

音楽

ア 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに，感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。

イ 感じたことを表現することや，曲や演奏の楽しさを見いだしながら，音や 音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。

ウ 音や音楽に楽しく関わり，協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに，身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い，豊かな情操を培う

美術

ア 造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

イ 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

ウ 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

保健体育（ⅡA 課程）

ア 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身につけるようにする。

イ 各種の運動や健康な生活における自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。

ウ 各種の運動に積極的に取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進と回復に進んで取り組む態度を養う。

（ⅡB 課程）

ア 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。

イ 基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝える力を養う。

ウ 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようとしたり健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。

職業

ア 職業について関心をもち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。

イ 将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気付き、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。

ウ 将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。

家庭

ア 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

イ 家庭や地域における生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。

ウ 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

外国語

ア 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。

イ 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして、好みや要求などの自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。

ウ 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながら英語の語または身振りや動作などでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

情報

ア 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会や人との関わりについて理解する。

イ 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

ウ 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。

② 道徳科

ア 自己を深く見つめ、人間としての生き方・在り方について考え、自立心や自律性を高め、規律ある生活を送ることができるようにする。

イ 思いやりの心をもって人と接するとともに、家族や多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めることができるようにする。

ウ 自分の考えや意見を伝えるとともに、互いの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心を持って謙虚に学び、自ら高めていこうとする態度を養う。

エ 法やきまりの意義やそれらを遵守することの意味を理解するとともに、自他の権利を大切にし、義務を果たそうとする意欲や態度を高める。

オ 地域や学校の人々を敬愛し、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して、他者と協力し合い集団生活の充実に努めようとする意欲を高める。

カ 我が国や郷土の伝統と文化について理解し、継承に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、国や郷土を愛する心とこれからの発展に貢献しようとする意欲を養うとともに、国際的視野の育成を図る。

キ 生命の尊さを考え、自己を振り返り、自らの弱さに気付くとともにそれを克服・改善して気高く生きようとする心を育てる。

③ 総合的な探究の時間

ア 探究の過程において、課題を発見し、その解決に必要な知識及び技能を身に付けることを通して、探究的な活動のよさを理解するようにする。

イ 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見い出し、学び方や物の考え方を身に付け、対象についての理解を深め、相手を意識しながら自分なりの表現をすることができるようにする。

ウ 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさに気付き、認め合いながら、積極的に社会参加する態度を養う。

④ 特別活動

ア 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で、必要となることについて理解を促し、行動の仕方を身に付けるようにする。

イ 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

ウ 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

⑤ 自立活動

ア 生命を維持し、日常生活を行うために必要な健康状態の維持・改善を図る。自己選択、

自己決定、自己選択する機会を設けることによって、思考・判断・表現する力を高めるようにする。

イ 自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する意欲の向上を図り、自己のよさに気付くことができるようにする。

ウ 自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を培う。

エ 感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できるようにする。

オ 日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができるようにする。

カ 場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができるようにする。

知的障害特別支援学校代替の教育課程（ⅡＣ課程）

① 各教科

国語

ア 日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。

イ 日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。

ウ 言葉で伝え合うよさを感じるとともに、図書に親しみ、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。

社会

ア 豊かな体験を通して、身近な人との関わりに気付くことができるようにする。

イ 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、関心をもつことができるようにする。

ウ 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。

数学

ア 身の回りのものの形に着目し、図形の違いが分かるようにするための技能を身に付けるようにする。

イ 身の回りのものの形に関心を持ち、形の性質に気付く力を養う。

ウ 数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味を持って学ぶ態度を養う。

理科

ア 身の回りの生物や植物に気付き、注目し、諸感覚を協応しながら捉える力を養う。

イ 身の回りの生物や植物の様子から、主な差異点や共通点に気付き、感じたことを表情や発声、しぐさで表現することができるようにする。

ウ 自然に親しむ活動を通して、自然を愛する心情を養うとともに、生活の中に生かそうとする態度を養う。

音楽

ア 音や音楽に注意を向けて気付くとともに，関心を向け，音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽，歌唱，音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。

イ 音楽的な表現を楽しむことや，音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。

ウ 音や音楽に気付いて，教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに，音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。

美術

ア 形や色などに気付き、教師と一緒に材料や用具を使うことができるようにする。

イ 幅広い活動を通して、諸感覚を協応させて創造体験を豊かにすることができるようにする。

ウ つくりだす喜びを味わうとともに、楽しく豊かな情操を培う。

保健体育

ア 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。

イ 体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。

ウ 簡単な合図(音楽)や指示に従って、楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。

職業・家庭

ア 健康及び余暇の過ごし方を体験し、人との関わりを楽しむことができるようにする。

イ さまざまな人との関わりを通して、自分の思いを表現することができるようにする。

ウ 生活経験の中で、よりよい生活を送るために自分に合った表現で、人との関わりを豊かにしていこうとする態度を養う。

外国語

ア 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞いて、音声やリズムに親しむことができるようにする。

イ 外国語の絵本や音楽に注目して、見聞きしようとすることができるようにする。

ウ 外国語や外国の文化などに触れながら、コミュニケーションを楽しむことができるようにする。

② 道徳科

ア あいさつなどの基本的な生活習慣を身に付けられるようにする。

イ 家庭、学校、地域社会との関わりの中で、様々な経験活動を行い、豊かな心を育てる。

ウ 家族や身近な人々との関わりを通して、自分の思いを表現することができるようにする。

エ 校内外の散策や体験活動を通して自然や季節を感じ、自然を愛する心情を育てる。

③ 総合的な探究の時間

ア 探究の過程において、興味・関心を広げ、生活を快適に過ごせる技能を身に付けることを通して、探究的な活動のよさを理解できるようにする。

イ 実社会や実生活の中から興味関心のあることに気持ちを向け、自分から関わろう（聞こう、見よう、触ろう）とする姿勢を表現することができるようにする。

ウ 探究的な活動に取り組む中で、他者のよさに気付き、意欲的に社会参加する態度を養う。

④ 特別活動

ア 学校行事や生徒会活動、学級活動に参加できる健康な体を保つことができるようにする。

イ 地域の学校との交流及び共同学習や集団活動の中で、多様な人との関わりをもち自分の思いを表現できるようにする。

ウ 社会生活を営む上で必要なマナーやルールを知り、人間関係を広めることができるようにする。

⑤ 自立活動

ア 生命を維持し、日常生活を行うために必要な健康状態の維持・改善を図る。

イ 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲の向上を図り、自己のよさに気付くことができるようにする。

ウ 自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を培う。

エ 感覚を有効に活用し、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりす

ることができるようにする。

オ 日常生活に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができるようにする。

カ 場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができるようにする。

様式６　高等部

①　授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
１年	15	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	13	199
２年	16	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	13	200
３年	16	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	10	197
備考													

②　訪問教育授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
１年	15	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	13	199
２年	16	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	13	200
３年	16	21	20	14	0	19	22	20	18	19	18	10	197
備考	授業日数は週5日、授業時数週８時間を標準とする。												

様式７　高等部

教育課程表（令和４年度入学者　高等部普通科）
Ⅰ課程（高等学校の教育課程に自立活動を加えて編成）

教科等		科目名	標準単位数	1年	２年	３年	合計	備考
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	2	2			2	
		言語文化	2	2			2	
		論理国語	4		4		4	
		国語表現	4			4	4	
	地理歴史	地理総合	2	4			4	3年間で3科目を履修する
		歴史総合	2			4	4	
	公民	公共	2		4		4	
	数学	数学Ⅰ	3	4			4	
		数学A	2		4		4	
		数学Ⅱ	4			4	4	
	理科	生物基礎	2	3			3	3年間で3科目を履修する
		化学基礎	2		3		3	
		地学基礎	2			3	3	
	保健体育	体育	7～8	2	2	3	7	
		保健	2	1	1	1	3	
	芸術	音楽Ⅰ	2	1	1	1	3	
		美術Ⅰ	2	1	1	1	3	
	外国語	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	3	4			4	
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	4		4		4	
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ	4			4	4	
	家庭	家庭総合	4		2	2	4	
	情報	情報Ⅰ	2	2			2	
共通教科・科目単位数計			56	26	26	27	79	
総合的な探究の時間			3～6	1	1	1	3	
特別活動		ホームルーム活動		1	1	1	3	
自立活動				2	2	1	5	
計			0	4	4	3	11	
合計				30	30	30	90	

様式７　高等部普通科　（　Ⅰ　）課程

①　教育課程表（令和４年度入学者）　令和６年度(３年)分見直し

Ⅰ課程（高等学校の教育課程に自立活動を加えて編成）

教科等		科目名	標準単位数	1年	２年	３年	合計	備考
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	2	2			2	
		言語文化	2	2			2	
		論理国語	4		4		4	
		古典探求	4				0	
		文学国語	4				0	
		国語表現	4			4	4	
	地理歴史	地理総合	2			3	3	
		地理探求	3				0	
		歴史総合	2	4			4	
		日本史探求	3				0	
		世界史探求	3				0	
	公民	公共	2		4		4	
		倫理	2				0	
		政治・経済	2				0	
	数学	数学Ⅰ	3	4			4	
		数学Ⅱ	4				0	
		数学Ⅲ	3				0	
		数学A	2		4		4	
		数学B	2				0	
		数学C	2				0	
		数学活用	学設			3	3	
	理科	科学と人間生活	2				0	
		物理基礎	2				0	
		物理	4				0	
		化学基礎	2		3		3	
		化学	4				0	
		生物基礎	2	3			3	
		生物	4				0	
		地学基礎	2			3	3	
		地学	4				0	
	保健体育	体育	７～８	2	2	3	7	
		保健	2	1	1		2	
	芸術	音楽Ⅰ	2	1	1		2	
		美術Ⅰ	2	1	1		2	
		音楽Ⅱ	2				0	
		美術Ⅱ	2			2	2	
	外国語	英語コミュⅠ	3	4			4	
		英語コミュⅡ	4		4		4	
		英語コミュⅢ	4				0	
		論理・表現Ⅰ	2			2	2	
	家庭	家庭基礎	2				0	
		家庭総合	4		2	2	4	
	情報	情報Ⅰ	2	2		1	3	
		情報Ⅱ	2				0	
共通教科・科目単位数計			114	26	26	23	75	
総合的な探究の時間			３～６	1	1	2	4	
特別活動		ホームルーム活動	1	1	1	1	3	
自立活動			3	2	2	4	8	
計			4	4	4	7	15	
合計			118	30	30	30	90	

様式７　高等部普通科　（　Ⅰ　）課程

①　教育課程表（令和５年度入学者）

Ⅰ課程（高等学校の教育課程に自立活動を加えて編成）

教科等		科目名	標準単位数	1年	２年	３年	合計	備考
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	2	2			2	進路希望に合わせて2年次に4科目の中から(A)か(B)選択履修
		言語文化	2	2			2	
		論理国語	4				0	
		古典探求	4		2	2	4	
		文学国語	4		2	2	4	
		国語表現	4				0	
	地理歴史	地理総合	2	4			4	３年間で３科目を履修する
		地理探求	3				0	
		歴史総合	2			4	4	
		日本史探求	3				0	
		世界史探求	3				0	
	公民	公共	2		4		4	
		倫理	2				0	
		政治・経済	2				0	
	数学	数学Ⅰ	3	4			4	
		数学Ⅱ	4			4	4	
		数学Ⅲ	3				0	
		数学A	2		4		4	
		数学B	2				0	
		数学C	2				0	
		数学活用	学設				0	
	理科	科学と人間生活	2				0	３年間で３科目を履修する
		物理基礎	2				0	
		物理	4				0	
		化学基礎	2				0	
		化学	4				0	
		生物基礎	2		3		3	
		生物	4				0	
		地学基礎	2	3		3	6	
		地学	4				0	
	保健体育	体育	７～８	2	2	3	7	
		保健	2	1	1	1	3	
	芸術	音楽Ⅰ	2	1		1	2	
		美術Ⅰ	2	1		1	2	
		音楽Ⅱ	2		1		1	
		美術Ⅱ	2		1		2	
	外国語	英語コミュⅠ	3	4			4	
		英語コミュⅡ	4		2	2	4	
		英語コミュⅢ	4				0	
		論理・表現Ⅰ	2		2	2	4	
	家庭	家庭基礎	2				0	
		家庭総合	4		2	2	4	
	情報	情報Ⅰ	2	2			2	
		情報Ⅱ	2				0	
共通教科・科目単位数計			114	26	26	27	79	
総合的な探究の時間			３～６	1	1	1	3	
特別活動		ホームルーム活動	1	1	1	1	3	
自立活動			3	2	2	1	5	
計			4	4	4	3	11	
合計			118	30	30	30	90	

様式７　高等部普通科　（　Ⅰ　）課程

①　教育課程表（令和６年度入学者）

Ⅰ課程（高等学校の教育課程に自立活動を加えて編成）

教科等		科目名	標準単位数	1年	２年	３年	合計	備考
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	2	2			2	進路希望に合わせて2年次に4科目の中から(A)か(B)選択履修
		言語文化	2	2			2	
		論理国語	4		(A)2	2	2	
		古典探求	4		(A)2	2	2	
		文学国語	4		(B)2	2	2	
		国語表現	4		(B)2	2	2	
	地理歴史	地理総合	2	3			3	
		地理探求	3				0	
		歴史総合	2		3		3	
		日本史探求	3				0	
		世界史探求	3				0	
	公民	公共	2			3	3	
		倫理	2				0	
		政治・経済	2				0	
	数学	数学Ⅰ	3	3			3	3年次は数学活用もしくは発展数学のいずれか1科目を選択して履修
		数学Ⅱ	4				0	
		数学Ⅲ	3				0	
		数学A	2		3		3	
		数学B	2				0	
		数学C	2				0	
		数学活用	学設			3	3	
		発展数学	学設			3	3	
	理科	科学と人間生活	2				0	
		物理基礎	2				0	
		物理	4				0	
		化学基礎	2			3	3	
		化学	4				0	
		生物基礎	2		3		3	
		生物	4				0	
		地学基礎	2	3			3	
		地学	4				0	
	保健体育	体育	7～8	2	2	3	7	
		保健	2	1	1		2	
	芸術	音楽Ⅰ	2	2			2	※2年次は音楽Ⅱもしくは美術Ⅱのいずれかを選択、3年次は2年次に履修していない科目を選択もしくは2年次に履修した科目のⅢを選択
		美術Ⅰ	2	2			2	
		音楽Ⅱ	2		2	2	4	
		美術Ⅱ	2		2	2	2	
		音楽Ⅲ	2			2	2	
		美術Ⅲ	2			2	2	
	外国語	英語コミュⅠ	3	3			3	2年次・3年次で「コミュニケーションⅡ」と「論理・表現Ⅰ」を継続して分割履修する
		英語コミュⅡ	4		2	2	4	
		英語コミュⅢ	4				0	
		論理・表現Ⅰ	2		1	1	2	
	家庭	家庭基礎	2				0	
		家庭総合	4		2	2	4	
	情報	情報Ⅰ	2	1	1	1	3	情報Ⅰを3年間で分割履修する
		情報Ⅱ	2				0	
	学校設定教科						0	
							0	
共通教科・科目単位数計			118	24	24	24	72	
総合的な探究の時間			3～6	2	2	2	6	
特別活動		ホームルーム活動	1	1	1	1	3	
自立活動			3	3	3	3	9	
計			4	6	6	6	18	
合計			122	30	30	30	90	

様式７　高等部普通科　（訪問Ｉ)課程

①　教育課程表（令和４・５年度入学者）
　　訪問教育Ｉ課程（高等学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成）

教科等		科目名	標準単位数	1年（時数）	2年（時数）	3年（時数）	備考
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	2	245 (7)	245 (7)	245 (7)	
		言語文化	2				
		文学国語	4				
		国語表現	4				
	地理歴史	地理総合	2				
		歴史総合	2				
	公民	公共	2				
	数学	数学Ｉ	3				
		数学A	2				
	理科	地学基礎	2				
		生物基礎	2				
		化学基礎	2				
	保健体育	体育	7				
		保健	1				
	芸術	音楽Ｉ	2				
		美術Ｉ	2				
	外国語	英語コミュⅠ	3				
		英語コミュⅡ	4				
		論理・表現Ｉ	2				
	家庭	家庭総合	4				
	情報	情報Ｉ	1				
	学校設定教科						
共通教科・科目単位数計			55				
総合的な探究の時間			6				
特別活動		ホームルーム活動	3				
自立活動			10	35 (1)	35 (1)	35 (1)	
合計			74	280	280	280	

ただし、生徒の障害等に応じて履修科目、単位数を調整し、各科目の学習目標を達成できるよう指導する。

様式７　高等部普通科　（訪問Ｉ）課程

①　教育課程表（令和６年度入学者）
訪問教育Ｉ課程（高等学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成）

教科等		科目名	標準単位数	1年（時数）	2年（時数）	3年（時数）	備考
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	2	245 (7)	245 (7)	245 (7)	
		言語文化	2				
		文学国語	4				
		国語表現	4				
	地理歴史	地理総合	2				
		歴史総合	2				
	公民	公共	2				
	数学	数学Ｉ	3				
		数学A	2				
	理科	地学基礎	2				
		生物基礎	2				
		化学基礎	2				
	保健体育	体育	7				
		保健	1				
	芸術	音楽Ｉ	2				
		美術Ｉ	2				
	外国語	英語コミュⅠ	3				
		英語コミュⅡ	4				
		論理・表現Ｉ	2				
	家庭	家庭総合	4				
	情報	情報Ｉ	1				
	学校設定教科						
共通教科・科目単位数計			55				
総合的な探究の時間			6				
特別活動		ホームルーム活動	3				
自立活動			10	35 (1)	35 (1)	35 (1)	
合計			74	280	280	280	

様式７　高等部普通科（　Ⅱ　）課程
②　標準授業時数表
　　ⅡーA 課程（知的特別支援学校高等部の教育課程で編成）

教科等			1年		２年		３年		備考
各学科に共通する各教科	国語		105	3	105	3	105	3	
	社会		70	2	70	2	70	2	
	数学		105	3	105	3	105	3	
	理科		70	2	70	2	70	2	
	音楽		70	2	70	2	70	2	
	美術		70	2	70	2	70	2	
	保健体育		105	3	105	3	105	3	体育理論・保健を含む
	職業		70	2	70	2	70	2	
	家庭		70	2	70	2	70	2	
	外国語		70	2	70	2	70	2	
	情報		35	1	35	1	35	1	
	学校設定教科		0		0		0		
			0		0		0		
			0		0		0		
共通教科・科目時数小計			840	24	840	24	840	24	
道徳科			35	1	35	1	35	1	
総合的な探究の時間			35	1	35	1	35	1	
特別活動		ホームルーム活動	35	1	35	1	35	1	
自立活動			105	3	105	3	105	3	
その他小計			175	6	175	6	175	6	
合計			1050	30	1050	30	1050	30	

様式７　高等部普通科（訪問Ⅱ）課程
②　標準授業時数表
　　訪問教育ⅡーA 課程（知的特別支援学校高等部の教育課程を弾力的に編成）

教科等			1年	２年	３年	備考
各学科に共通する各教科	国語		70	70	70	
	社会		10	10	10	
	数学		70	70	70	
	理科		10	10	10	
	音楽		15	15	15	
	美術		15	15	15	
	保健体育		15	15	15	体育理論・保健を含む
	職業		3	3	3	
	家庭		2	2	2	
	外国語		3	3	3	
	情報		2	2	2	
	学校設定教科					
共通教科・科目時数小計			215	215	215	
道徳科			5	5	5	
総合的な探究の時間			5	5	5	
特別活動		ホームルーム活動	5	5	5	
自立活動			50	50	50	
その他小計			65	65	65	
合計			280	280	280	

様式７　高等部普通科（　Ⅱ　）課程
②　標準授業時数表
　　ⅡーB 課程（知的特別支援学校高等部の教育課程で編成）

教科等			1年		２年		３年		備考
各学科に共通する各教科	国語		70	2	70	2	70	2	
	社会		70	2	70	2	70	2	
	数学		70	2	70	2	70	2	
	理科		70	2	70	2	70	2	
	音楽		70	2	70	2	70	2	
	美術		70	2	70	2	70	2	
	保健体育		70	2	70	2	70	2	体育理論・保健を含む
	職業		70	2	70	2	70	2	
	家庭		70	2	70	2	70	2	
	外国語		17.5	0.5	17.5	0.5	17.5	0.5	
	情報		0	0	0	0	0	0	
	学校設定教科								
共通教科・科目時数小計			647.5	18.5	647.5	18.5	647.5	18.5	
道徳科			17.5	0.5	17.5	0.5	17.5	0.5	
総合的な探究の時間			35	1	35	1	35	1	
特別活動		ホームルーム活動	35	1	35	1	35	1	
自立活動			315	9	315	9	315	9	
その他小計			402.5	11.5	402.5	11.5	402.5	11.5	
合計			1050	30	1050	30	1050	30	

様式７　高等部普通科（訪問Ⅱ）課程
②　標準授業時数表
　　訪問教育ⅡーB 課程（知的特別支援学校高等部の教育課程を弾力的に編成）

教科等			1年	２年	３年	備考
各学科に共通する各教科	国語		70	70	70	
	社会		10	10	10	
	数学		70	70	70	
	理科		10	10	10	
	音楽		15	15	15	
	美術		15	15	15	
	保健体育		15	15	15	体育理論・保健を含む
	職業		3	3	3	
	家庭		2	2	2	
	外国語		3	3	3	
	情報		2	2	2	
	学校設定教科					
共通教科・科目時数小計			215	215	215	
道徳科			5	5	5	
総合的な探究の時間			5	5	5	
特別活動		ホームルーム活動	5	5	5	
自立活動			50	55	50	
その他小計			65	70	65	
合計			280	285	280	

様式７　高等部普通科（　Ⅱ　）課程
②　標準授業時数表
　　Ⅱ－C 課程（知的特別支援学校高等部の教育課程で編成）

教科等			1年		２年		３年		備考
各学科に共通する各教科	国語		70	2	70	2	70	2	
	社会		35	1	35	1	35	1	
	数学		70	2	70	2	70	2	
	理科		35	1	35	1	35	1	
	音楽		70	2	70	2	70	2	
	美術		35	1	35	1	35	1	
	保健体育		35	1	35	1	35	1	体育理論・保健を含む
	職業		8.75	0.25	8.75	0.25	8.75	0.25	
	家庭		8.75	0.25	8.75	0.25	8.75	0.25	
	外国語		8.75	0.25	8.75	0.25	8.75	0.25	
	情報		0	0	0	0	0	0	
	学校設定教科								
共通教科・科目時数小計			376.25	10.75	376.25	10.75	376.25	10.75	
道徳科			8.75	0.25	8.75	0.25	8.75	0.25	
総合的な探究の時間			35	1	35	1	35	1	
特別活動		ホームルーム活動	35	1	35	1	35	1	
自立活動			595	17	595	17	595	17	
その他小計			673.75	19.25	673.75	19.25	673.75	19.25	
合計			1050	30	1050	30	1050	30	

様式15　高等部普通科（　訪問Ⅱ　）課程

① 標準授業時数表【各教科等を合わせた指導を含む】
訪問教育Ⅱ-C 課程（知的障害高等部の教育課程を弾力的に編成）

	教科等		1年					2年					3年					備考
			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			
各学科に共通する各教科	国語		70	70	0	生	0	70	70	0	生	0	70	70	0	生	0	
							0					0					0	
							0					0					0	
	社会		10	0	10	生	10	10	0	10	生	10	10	0	10	生	10	
							0					0					0	
							0					0					0	
	数学		70	70	0	生	0	70	70	0	生	0	70	70	0	生	0	
							0					0					0	
							0					0					0	
	理科		10	0	10	生	10	10	0	10	生	10	10	0	10	生	10	
							0					0					0	
							0					0					0	
	音楽		15	0	15	生	15	15	0	15	生	15	15	0	15	生	15	
							0					0					0	
							0					0					0	
	美術		15	0	15	生	15	15	0	15	生	15	15	0	15	生	15	
							0					0					0	
							0					0					0	
	保健体育		5	0	5	生	5	5	0	5	生	5	5	0	5	生	5	体育理論・保健を含む
							0					0					0	
							0					0					0	
	職業		3	0	3	生	3	3	0	3	生	3	3	0	3	生	3	
							0					0					0	
							0					0					0	
	家庭		2	0	2	生	2	2	0	2	生	2	2	0	2	生	2	
							0					0					0	
							0					0					0	
	外国語		3	0	3	生	3	3	0	3	生	3	3	0	3	生	3	
							0					0					0	
							0					0					0	
	情報		2	0	2	生	2	2	0	2	生	2	2	0	2	生	2	
							0					0					0	
							0					0					0	
	学校設定教科		0					0					0					
			0					0					0					
共通教科時数計			205	140				205	140				205	140				
道徳科			5	0	5	生	5	5		5	生	5	5		5	生	5	
							0					0					0	
							0					0					0	
特別活動		ホームルーム活動	5	0	5	生	5	5		5	生	5	5		5	生	5	
							0					0					0	
							0					0					0	
自立活動			65	0	0	生	0	65		0	生	0	65		0	生	0	
							0					0					0	
							0					0					0	
総合的な探究の時間																		
合計	教科別の指導で行う時数			140					140					140				
	各教科等を合わせた指導で行う時数						75					75					75	
	総時数		280					280					280					

【指導形態】

生活単元学習	75	75	75
0	0	0	0
0	0	0	0
合計	75	75	75

様式15　高等部普通科（Ⅱ課程）

②【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

		1年	2年	3年	備考
生活単元学習	国語	0	0	0	
	社会	10	10	10	
	数学	0	0	0	
	理科	10	10	10	
	音楽	15	15	15	
	美術	15	15	15	
	保健体育	5	5	5	
	職業	3	3	3	
	家庭	2	2	2	
	外国語	3	3	3	
	情報	2	2	2	
	道徳	5	5	5	
	ﾎｰﾑﾙｰﾑ	5	5	5	
	自立活動	0	0	0	
	合計	**75**	**75**	**75**	

	国語				
	社会				
	数学				
	理科				
	音楽				
	美術				
	保健体育				
	職業				
	家庭				
	外国語				
	情報				
	道徳				
	ﾎｰﾑﾙｰﾑ				
	自立活動				
	合計	**0**	**0**	**0**	

	国語				
	社会				
	数学				
	理科				
	音楽				
	美術				
	保健体育				
	職業				
	家庭				
	外国語				
	情報				
	道徳				
	ﾎｰﾑﾙｰﾑ				
	自立活動				
	合計	**0**	**0**	**0**	

各教科等を合わせた指導 合計	**75**	**75**	**75**	

様式８　高等部
年間行事計画

学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
一学期	4月8日	月	儀式的	就任式・1学期始業式		1	1	
	4月9日	火	儀式的	入学式	1	1	1	
	4月12日	金	健康安全・体育的	身体測定	1	1	1	
	5月15日～17日	水～金	遠足・集団的	３学年修学旅行			18	
	6月6日	木	健康安全・体育的	火災避難訓練	1	1	1	
	7月19日	金	儀式的	１学期終業式	1	1	1	
	小計				4	5	23	

学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
二学期	9月2日	月	儀式的	２学期始業式	1	1	1	
	11月1日	金	健康安全・体育的	地震・津波等防災避難訓練	1	1	1	
	11月17日	日	文化的	学習発表会	3	3	3	
	12月25日	水	儀式的	２学期終業式	1	1	1	
	小計				6	6	6	

学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
三学期	1月6日	月	儀式的	３学期始業式	1	1	1	
	3月14日	金	儀式的	小中高卒業式	2	2	2	
	3月19日	水	儀式的	修了式・離任式	1	1		
	小計				4	4	3	
合計					14	15	32	

様式９

その他特別活動の計画

１　高等部様式

生徒会活動年間予定時数

	学期	実施予定		時間配当			備考
		回数	内容（時数）	1年	2年	3年	
生徒会活動	１学期	2 (4)	・役員紹介（１） ・オリジナル企画①(1)	2	2	2	児童生徒会役員会(2)
	２学期	1 (2)	・学習発表会テーマ発表（１）	1	1	1	児童生徒会役員会(1)
	３学期	2 (4)	・役員選挙公示（１） ・役員選挙(1)	2	2	2	児童生徒会役員会(2)
合計				5	5	5	

様式11 高等部

事　項		授業時数		
		1年	2年	3年
A 様式10の学年別授業時数の学年末累計を転記		1111	1115	1081
B A欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数		1109	1113	1081
特別活動（学級活動等を除く）	C 様式８（年間行事計画)の時間配当の合計を転記	14	15	32
	D C欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数	14	15	32
	E 様式９（ その他特別活動の計画）の時間配当の合計を転記	5	5	5
	F E欄を小学部45分，中･高等部50分で換算した時数	5	5	5
	G D 欄＋ F 欄の時数を記入	19	20	37
H B欄－F欄の時数を記入（年間総授業時数）		1104	1108	1076

１１　週時程表

（１）小学部

		月	火	水	木	金
朝の準備		8:50～9:05				
1校時		9:05～9:50				
2校時		10:00～10:45				
3校時		10:55～11:40				
4校時		11:50～12:35				
給食		12:40～13:25				
5校時		13:25～14:10				
6校時		14:20～15:05				14:20～15:05
帰りの準備	5校時	14:10～14:25				
	6校時	15:05～15:20				

・1学年は、月～金曜日を5校時までとする。(週25時間)

・2学年は、火曜日を6校時までとする。(週26時間)

・3学年は、水曜日・金曜日を5校時までとする。(週28時間)

・4学年～6学年は、水曜日を5校時までとする。(週29時間)

（２）中学部

		月	火	水	木	金
朝の準備		8:50～9:05				
1校時		9:05～9:55				
2校時		10:00～10:50				
3校時		10:55～11:45				
4校時		11:50～12:40				
給食		12:40～13:25				
5校時		13:25～14:15				
6校時		14:20～15:10				14:20～15:10
帰りの準備	5校時	14:15～14:25				
	6校時	15:10～15:20				

(週29時間)

（３）高等部

	月	火	水	木	金
SHR	8：50～9：05				
１校時	9：05～9：55				
２校時	10：00～10：50				
３校時	10：55～11：45				
４校時	11：50～12：40				
給食	12：40～13：25				
５校時	13：25～14：15				
６校時	14：20～15：10				
SHR	15：10～15：20				

(週30時間)

令和６年度 年間行事計画　（4月～6月）

月	4		5		6	
日	曜	行　事	曜	行　事	曜	行　事
1	月	新職員辞令交付9:30～　新職員オリエンテーション10:00～11:00	水	保護者面談・年計作成期間②（給食あり13:45下校）	土	
2	火	職員会議・服務研修9:00～12:00　学部会（午後）	木	保護者面談・年計作成期間③（給食あり13:45下校） （中高ⅡC体育）校外学習：海を感じよう！	日	
3	水	校務分掌部会（顔合わせ・１学期の業務確認）9:00～ 医ケア実施校研修会（教頭、養教、看護師）10:00～16:00	金	憲法記念日	月	TT会
4	木	新職員研修9:00～10:00 医ケア実施委員会（顔合わせ）10:30～11:30 校内研究推進委員会①（午後）	土	みどりの日	火	
5	金	スクールバス安全祈願9:00～　式場準備9:30～ 給食委員会（名護特支：校長、教頭、教務、給食）11:00～	日	こどもの日	水	校内研修（摂食嚥下機能について）16:15～
6	土		月	こどもの日振替休日	木	火災避難訓練　教育課程委員会②　教育情報化推進講座（～7日：教頭）
7	日		火	学部会　中堅研	金	第２回沖特長会　校務分掌部会（中高ⅡB社会）名護博物館　養護教諭研修会①
8	月	１学期就任式・始業式（給食あり13:45下校） 式場準備14:00～　入学式打ち合わせ15:00～	水	校内研修日（小中13:45下校、高14:25下校） 救命講習16:00～　特支コーディネータ養成研修	土	
9	火	入学式（在校生給食あり13:45下校）新入生12時下校 式場片付14:00～	木	（高１）胸部X線検査11：00～　医ケア実施委員会	日	
10	水	新年度資料作成に伴う早下校（13:45）① （小）身体検査・視力・聴力	金	校務分掌部会　児童生徒会役員会　第１回教頭会	月	学部会　（高）就業体験①～21日まで　平和週間（～28日まで）
11	木	新年度資料作成に伴う早下校（13:45）② 心電図検査10：30～	土		火	第１回PTA評議員会　地域インクルーシブ教育システム整備事業運営協議会
12	金	新年度資料作成に伴う早下校（13:45）③ 第１回県立学校長研修会　（中高）身体検査・視力・聴力	日	日曜参観日12:00下校 親子ふれあいお楽しみ会オリジナル企画①	水	
13	土	第１回沖特長会	月	学校環境衛生・安全管理講習会（教頭）	木	校内研修（授業検討会①）中高13:45下校　学校説明会(市町村委員会、福祉課、保健所等）沖特P協定期総会
14	日		火	TT会	金	交通安全指導教室（小）児童生徒会役員会　労働安全衛生担当者研修会（教頭）
15	月	学部会　保護者医ケア説明会	水	がじまる号10：00～11：00　全体緊急時シミュレーション（プール）16:15～　高等部修学旅行１日目（～17日）	土	「おきなわ地域教育の日」
16	火	環境衛生検査	木	歯科検診10：55～　校内研究推進委員会②　高等部修学旅行２日目	日	「家庭の日」
17	水	運営委員会16:15～	金	「少年を守る日」　全体清掃　高等部修学旅行３日目	月	TT会
18	木	教育課程委員会①	土	「おきなわ地域教育の日」	火	小学部1教室校外学習
19	金	「少年を守る日」耳鼻科検診11：00～ 児童生徒会役員会（３校時）　全体清掃	日	「家庭の日」	水	がじまる号10：00～11：00　運営委員会16:15～
20	土	「おきなわ地域教育の日」	月	TT会　プール安全祈願	木	
21	日	「家庭の日」	火	沖肢P連　理事会・総会	金	「少年を守る日」　平和集会　３校時　全体清掃 授業参観日　部主事研　（中高）特活ⅡC（がらまんホール）
22	月	尿・蟯虫検査①（～23日）小学部新入生通常日課（給食開始）　全体緊急時シミュレーション16:15～	水	運営委員会16:15～	土	
23	火	PTA役員会	木	内科検診14：00～　医教連16：25～	日	慰霊の日
24	水	小学部1年生を迎える会　職員会議16:15～　子ども読書の日	金	歯科指導（３校時）　（高）鏡が丘交流会①	月	評価期間（ノー会議デイ）①
25	木	学校要望調査11:00～　医教連16：25～	土		火	評価期間（ノー会議デイ）②　沖肢P連第２回理事会
26	金	児童生徒会役員紹介（3校時）授業参観日　県立学校保健主事研修会　特支コーディネータスキルアップ研修	日		水	評価期間（ノー会議デイ）③
27	土		月	学部会　給食指導週間（～31日）	木	全特研大会（～28日）小学部1学期お楽しみ会　医教連16：25～
28	日		火	小学部4教室校外学習（徒歩）　小学部3教室校外学習	金	特支コーディネータスキルアップ研修
29	月	昭和の日	水	職員会議16:15～	土	
30	火	保護者面談・年計作成期間①（給食あり13:45下校）	木	防火設備講習	日	
31			金	おんかつ鑑賞会（10：00～10：50）		

令和６年度 年間行事計画　（７月～９月）

７			８		９	
日	曜	行　事	曜	行　事	曜	行　事
1	月	TT会	木	中堅研	日	
2	火	小学部3教室校外学習　第１回学校評議員会	金	校務分掌部会　医ケア実施校研修会（教頭、養教、看護師）	月	２学期始業式（給食あり13:45下校）　TT会　読書月間（～27日まで）
3	水		土		火	
4	木	第３回沖特長会　校内研修日（小中13:45下校、高14:25下校）	日	リフレッシュウィーク（8/4～8/10）	水	
5	金	第４回沖特長会　校務分掌部会（1学期の反省） 辺土名高等学校交流①（本校来校）	月		木	パラスポーツ体験（2～3校時）
6	土		火		金	校務分掌部会（２学期の業務確認）　中高Ⅰ・Ⅱ校外学習（地域の施設訪問）　児童生徒会役員会 教頭研②
7	日		水	学校閉庁日①	土	
8	月	学部会　辺土名高等学校交流②（希望者のみ） 夏休み特別貸出月間（～19日まで）	木	学校閉庁日②	日	
9	火	小学部4教室校外学習	金	学校閉庁日③	月	学部会　（中高）校内キャリア実習①（～13日）
10	水	運営委員会16:15～	土		火	
11	木	医教連16：25～ 関係機関による授業参観（放デイ）	日	山の日	水	校内研修日（小中13:45下校、高14:25下校）
12	金	小学部2教室校外学習　児童生徒会役員会	月	山の日振替休日	木	第５回沖特長会　特別支援学校就業支援キャンペーン国頭地区中文祭第１回専門部会 児童生徒会役員会(6校時)
13	土		火	中堅研	金	第２回県立学校長研修会　読み聞かせ会　３校時
14	日		水	PTA研修（進路）中堅研	土	
15	月	海の日	木		日	「家庭の日」
16	火	TT会　（中高Ⅰ・ⅡAB体育）校外学習：海で泳ごう！	金	旧盆（ウンケー）　「少年を守る日」	月	敬老の日
17	水	がじまる号10：00～11：00　職員会議16:15～	土	「おきなわ地域教育の日」	火	TT会
18	木	第1回学校保健委員会14:00～、医ケア委員会15:00～	日	旧盆（ウークイ）　「家庭の日」	水	運営委員会16:15～　（中高）校内キャリア実習②
19	金	１学期終業式（給食あり13:45下校）「少年を守る日」 校内PTA親睦スポーツ大会　全体清掃　授業参観日	月	高校入試地区講座（中頭：教頭）	木	教育課程委員会③
20	土	「おきなわ地域教育の日」	火		金	「少年を守る日」　小学部2教室校外学習　全体清掃 （中高）校内キャリア実習③
21	日	「家庭の日」　夏季休業日（7/21～8/31）	水	生徒指導地区講座（国頭：生徒指導部）	土	「おきなわ地域教育の日」
22	月	学部会　不審者侵入対策訓練　AM　沖縄県特別支援学校中学部総合文化祭 作品搬入　校内就学委員会　中堅研	木		日	秋分の日
23	火	専門家活用研修①　沖縄県特別支援学校中学校総合文化祭作品展示～28日	金		月	秋分の日振替休日
24	水		土		火	学部会
25	木		日		水	職員会議16:15～　特支管理者研修会（校長）
26	金	教務主任研	月	運営委員会9:30～	木	医教連16：25～
27	土		火		金	授業参観日　特支コーディネータスキルアップ研修 （中高）キャリア報告会
28	日		水	職員会議9:30～	土	
29	月	沖縄県特別支援学校中学部総合文化祭 作品搬出　中堅研	木	校内研究推進委員会③	日	
30	火	中堅研	金		月	
31	水	個別の指導計画２学期提出〆切	土		火	

令和６年度 年間行事計画　（10月～12月）

10			11		12	
日	曜	行　事	曜	行　事	曜	行　事
1	火	小学部3教室校外学習	金	校務分掌部会　九音研沖縄大会2日目	日	
2	水		土		月	TT会
3	木	小学部修学旅行１日目	日	文化の日	火	第２回学校評議員会
4	金	小学部修学旅行２日目 校務分掌部会	月	文化の日振替休日	水	校内研修日（小中13:45下校、高14:25下校）
5	土		火	TT会　防災の日　防災避難訓練	木	第７回沖特長会　特別支援学校キャリア教育・就労支援発表会
6	日		水	校内研修日（小中13:45下校、高14:25下校）	金	第８回沖特長会　校務分掌部会（2学期の反省）　小学部校外学習北山高等学校との交流及び共同学習　第３０回沖縄県中学校総合文化祭 作品搬入
7	月	TT会　第１回入学選抜委員会	木		土	第３０回沖縄県中学校総合文化祭
8	火	（中高ⅡC社会）出前授業	金	中高Ⅰ・Ⅱ校外学習（街歩き体験：名護市営市場）　全体清掃	日	
9	水	教育課程委員会④	土	ツール・ド・おきなわ	月	学部会
10	木	学校説明会・学校見学（高校入試）国頭地区中文祭第２回専門部会　校内研修（授業検討会②）（小学部）13:45下校	日		火	第２回PTA評議員会
11	金		月	学部会	水	運営委員会16:15～　（中高Ⅰ・ⅡA国語）さくらの読み聞かせ隊
12	土		火	学習発表会リハーサル（13:45下校）特別支援教育研修会	木	第2回学校保健委員会14:00～、医ケア委員会15:00～ 地域インクルーシブ教育システム整備事業運営協議会
13	日		水	会場設営　九肢研・全肢研（熊本大会）～15日	金	児童生徒会役員会（３校時）
14	月	スポーツの日	木	校内研究推進委員会④	土	
15	火	学部会　視機能検査（午前）（中高Ⅰ・ⅡAB体育）校外学習：名桜大学陸上競技場（小）金曜日課	金	「少年を守る日」　養護教諭研修会②　産業フェア（～16日）	日	「家庭の日」
16	水	がじまる号10：00～11：00　運営委員会16:15～	土	「おきなわ地域教育の日」　国頭地区中文祭準備	月	TT会　教育支援計画見直し期間（～20日）
17	木	全体緊急時シミュレーション（学発）16:15～	日	学習発表会（12:00下校）　第30回国頭地区中文祭	火	（中高）さくらのコンサート
18	金	第６回沖特長会　「少年を守る日」　小学部秋の遠足 全体清掃　授業参観日	月	学習発表会振替休日	水	がじまる号10：00～11：00　職員会議会16:15～
19	土	「おきなわ地域教育の日」	火	TT会	木	医教連16：25～
20	日	（中）修学旅行１日目　「家庭の日」	水	がじまる号10：00～11：00　運営委員会16:15～	金	「少年を守る日」　小学部2学期お楽しみ会　児童生徒会役員会　全体清掃　授業参観日　（中高）わくわくドリームコンサート
21	月	（中）修学旅行2日目　TT会	木	教育課程委員会⑤　沖特P協議会	土	「おきなわ地域教育の日」
22	火	（中）修学旅行3日目	金	中高Ⅰ・Ⅱ校外学習(職場・企業見学)　全体清掃	日	
23	水	職員会議会16:15～　（中）修学旅行振休	土	勤労感謝の日	月	学部会
24	木	学習発表会テーマ発表（３校時）　医教連16：25～	日		火	
25	金	（中高ⅡAB社会）道の駅おおぎみ	月	評価期間（ノー会議デイ）①　給食指導週間（～29日）	水	２学期終業式（給食あり13:45下校）
26	土		火	評価期間（ノー会議デイ）②　小学部4教室校外学習	木	冬季休業（～１/５）　校内研究推進委員会⑤
27	日	文字活字文化の日	水	評価期間（ノー会議デイ）③　卒業式の花を植えよう（小）	金	仕事納め
28	月	学部会　入学志願前相談（～11月８日）	木	医教連16：25～	土	
29	火	小6職場見学　小学部1教室校外学習	金	卒業式の花を植えよう（中・高）２・３校時　（高）鏡が丘交流会②　特別支援学校体育大会オブザーバー参加　特支コーディネータスキルアップ研修	日	
30	水		土		月	
31	木	九音研沖縄大会1日目			火	

令和６年度 年間行事計画　（１月～３月）

1			2		3	
日	曜	行　事	曜	行　事	曜	行　事
1	水	元旦	土		土	
2	木		日		日	
3	金		月	高校入試願書受付（～4日）　TT会	月	（高）入試準備（13:45下校）（中）体験入学 （13:45下校）蔵書点検（貸出修了:～19日）TT会
4	土		火	第３回PTA評議員会　　小学部4教室校外学習	火	高校入試１日目
5	日		水	校内研修日（小中13:45下校、高14:25下校）　校内研修報告会	水	高校入試２日目
6	月	仕事始め　３学期始業式（給食なし12:00下校） TT会	木	教育課程委員会⑦　（小）体験入学打合せ会	木	（高）入試業務（13:45下校）　入試選抜委員会　合否・卒業進級判定会議　運営委員会16:15～　（中）学部校外学習
7	火		金	校務分掌部会（職員必携の見直し）　高校入試志願変更申出（～10日）　児童生徒会役員選挙（2校時）	金	（中高）卒業生・成人を祝う会　校務分掌部会（3学期の反省）
8	水	校内研修日（小中13:45下校、高14:25下校）	土		土	第11回沖特長会
9	木		日		日	
10	金	児童生徒会役員公示（３校時）校務分掌部会（次年度の配置人数と要望）　第3回県立学校長研修会	月	学部会　第２回入学選抜委員会	月	学部会　卒業式打合せ会　高校入試追検査 スクールバス運行委員会
11	土		火	建国記念の日	火	医教連16：25～
12	日		水	小学部体験入学（在校生13:45下校）	水	がじまる号14:10～14:40　職員会議会16:15～　卒業式リハーサル　児童生徒会役員認証式（リハ後）
13	月	成人の日	木	校内研究推進委員会⑥　第９回沖特長会	木	式場準備16:15～
14	火	運営委員会・校務分掌検討委員会①16:15～	金	小学部校外学習　第10回沖特長会	金	小中高　卒業式（12:00下校 ）
15	水	がじまる号10：00～11：00　学部会	土	「おきなわ地域教育の日」	土	「おきなわ地域教育の日」
16	木	国頭地区中文祭第３回専門部会　教育課程委員会⑥	日	「家庭の日」	日	「家庭の日」
17	金	「少年を守る日」小学部十三祝い　全体清掃　授業参観日　鏡が丘交流会②	月	高校入試志願取下・再提出（～18日）小学部体験入学予備日又は報告会（在校生14:25下校）　TT会	月	TT会
18	土	「おきなわ地域教育の日」	火	沖肢P第３回理事会　校内研（中堅研・県外研修報告会）	火	高等部入試合格発表
19	日	「家庭の日」	水	（高）校外学習（マナー学習）＊中学部学部対応　がじまる号10：00～11：00　運営委員会16:15～	水	修了式・離任式（12:00下校 ） ２次募集願書受付（～21日）
20	月	TT会　高等部会（入試問題について）	木	第3回学校保健委員会14:00～、医ケア委員会15:00～	木	春分の日
21	火		金	小学部2教室校外学習　全体清掃&PTA作業　授業参観日　特支コーディネータスキルアップ研修	金	学年休業日（3/21～3/31）「少年を守る日」
22	水	職員会議会16:15～	土		土	
23	木	医教連16：25～	日	天皇誕生日	日	
24	金	小学部3教室校外学習　児童生徒会役員会（３校時） 第２回教頭会　中堅研	月	天皇誕生日振替休日	月	２次募集志願変更申出　第３号研修（～26日）
25	土		火	第３回学校評議員会　職員会議会16:15～	火	
26	日		水	保護者面談①（給食あり13:45下校）	水	新入生オリエンテーション10:00～11:00　県立医ケア指導看護師養成研修
27	月	引継ぎ資料作成期間①13:45下校　中高校内実習期間及び高等部２・３年生校外実習期間(～31日)	木	保護者面談②（給食あり13:45下校）　医教連16：25～	木	
28	火	引継ぎ資料作成期間②13:45下校　小学部1教室校外学習	金	保護者面談③（給食あり13:45下校）　小学部卒業を祝う会	金	２次募集合格発表
29	水	引継ぎ資料作成期間③通常下校			土	
30	木				日	
31	金	進路講話（Rくんと保護者より）　（中高）芸術鑑賞（がらまんホール）			月	

様式1

令和6年度　学校保健計画

学校名　沖縄県立桜野特別支援学校

保健主事 職・氏名　教諭・森 ルツ

月			4	5	6	7.8	9	10	11	12	1	2	3
月の重点			自分の健康状態を知ろう	生活のリズムを作ろう	歯を大切にしよう	夏を元気に過ごそう	生活リズムを整えよう	目を大切にしよう	体を清潔にしよう 学習発表会を元気に迎えよう	感染症の予防をしよう	冬を元気に過ごそう	心の健康を考えよう	耳を大切にしよう 健康生活を振り返ろう
学校保健関係行事			身体測定 視力・聴力検査 心電図検査 耳鼻科検診 尿・蟯虫検査 保護者医ケア説明会	胸部X線検査（高1対象） 内科検診 歯科検診 水泳学習 職員向け救急法講習 ★保護者向け「いのちの安全教育」資料配布	「虫歯の日」 歯科指導（歯とロの健康習慣） 全国歯みがき大会 水泳学習	水泳学習 「鼻の日」	身体測定 「救急の日」	「目の愛護デー」 「世界手洗いの日」 修学旅行前検診 小学部修学旅行 中学部修学旅行	「いい歯の日」 「いい空気の日」 「いい風呂の日」 学習発表会	「世界エイズデー」 「世界人権デー」	身体測定 高等部修学旅行	新入生体験入学	「耳の日」 高校入試 新入生オリエンテーション
保健管理	対人管理		保健調査及び保健関係書類の更新 新入生バイタル測定 定期健康診断実施と事後措置	定期健康診断実施と事後措置 健康相談の励行 水泳学習前の緊急時シミュレーション	定期健康診断事後措置 ロと歯の健康の取組	熱中症予防 夏バテ予防 水泳時の救急体制と健康管理 夏休み中の生活指導と健康管理	夏休み中の疾病治療状況の把握 修学旅行前の健康調査と健康管理 健康相談の励行	目の健康について 修学旅行前の健康調査と健康管理 学習発表会前の緊急時シミュレーション	歯とロの健康の取組 学習発表会前の健康調査と健康管理	風邪とインフルエンザ予防 室内の換気及び手洗いの励行 冬休みの生活指導と健康管理	冬休み中の健康調査 健康相談の励行	今年度の欠席及び感染症罹患状況の把握	1年間の健康生活の反省 春休みの生活指導と健康管理 次年度の計画
	対物管理		大掃除 日常点検	水質検査（プール水・飲料水） 日常点検	日常点検	室内化学物質濃度検査 日常点検	ダニまたはダニアレルゲン検査 日常点検	照度検査 日常点検	騒音検査 日常点検	日常点検 学校環境衛生検査の結果等まとめ	日常点検 ヒーター管理	日常点検 ヒーター管理	次年度の計画 日常点検 大掃除
保健教育	教科等	科目保健	中高Ⅰ課程 現代社会と健康① 中高Ⅱ課程 身体の成長 小学部 健康な生活	中高Ⅰ課程 現代社会と健康② （精神疾患の予防と回復） 小学部 体の発育発達	中高Ⅰ課程 安全な社会生活① 中高Ⅱ課程 歯磨き・うがい 小学部 ★自分だけの大切なところ	中高Ⅰ課程 安全な社会生活② 小学部 ★自分と他の人を守るためのルール	中高Ⅰ課程 ★生涯を通じる健康① 小学部 ケガの防止	中高Ⅰ課程 生涯を通じる健康② 中高Ⅱ課程 病気やケガ 小学部 ★人との距離感	中高Ⅰ課程 健康を支える環境づくり① （薬物乱用防止教室） 小学部 病気の予防	中高Ⅰ課程 健康を支える環境づくり② 小学部 ★SNS の利用	中高Ⅰ課程 現代社会と健康③ （がん教育） 中高Ⅱ課程 感染症対策	中高Ⅰ課程 ★安全な社会生活③ 小学部 心の健康	中高Ⅰ課程 生涯を通じる健康③
		関連教科	生活習慣を整えよう （生活科） 基本的生活習慣 （生活科）	給食指導（噛むことの大切さについて）	歯みがき指導 （生活科）	夏の過ごし方 （生活科・家庭科）			給食指導（学校給食ができるまで）	冬の過ごし方 （生活科・家庭科）	風邪の予防について （生活科）		自分自身の体調を振り返る（生活科・家庭科）
		総合的な探求	※Ⅰ・Ⅱ課程において児童生徒の実態に応じた授業の取り組み		就業体験① （体調を整える、体調の変化を伝える）		就業体験① （体調を整える、体調の変化を伝える）				校内実習 （体調を整えて働く）		
	特別活動	HR活動		給食指導（噛むことの大切さについて）	歯みがき指導	1学期の振り返り 夏休みの過ごし方			給食指導（学校給食ができるまで）	2学期の振り返り 冬休みの過ごし方	風邪の予防について	リクエスト給食	1年間のまとめ 春休みの過ごし方
		生徒会		心の健康チェック 日曜参観 親子ふれあい			心の健康チェック				心の健康チェック		
	個別・日常指導		病弱児の登下校バイタル測定 洗面・手洗い・歯みがき(日常) 保健室の利用方法 健康診断の受け方	個別の摂食指導		夏の健康生活	けがの防止	個別の手洗い指導	個別の摂食指導	風邪予防 冬の健康生活			1年間の健康生活反省
組織活動			保健安全部 医教連絡会 医ケア実施委員会 いじめ対策人権委員会	医ケア実施委員会		医ケア実施委員会 学校保健委員会①	いじめ対策人権委員会		学校保健委員会②	医ケア実施委員会	いじめ対策人権委員会	医ケア実施委員会 学校保健委員会③	

※「生命（いのち）の安全教育」を実施する教科等には「★」を付ける。

様式2(特別支援学校用)

令和6年度 学校安全計画(特別支援学校)

学校名 沖縄県立桜野特別支援学校
記載者　森 ルツ

項目＼月			4	5	6	7･8	9	10	11	12	1	2	3
月の重点			通学路の安全に気をつけよう	水遊びの安全に気をつけよう	安全に避難しよう(火災)	夏休みを安全に過ごそう	防災について考えよう	けがに気をつけよう	安全に避難しよう(地震津波)	冬休みを安全に過ごそう	暖房器具の安全に気をつけよう	車いすの安全に気をつけよう	安全について振り返ろう
学校行事			スクールバス安全祈願	交通安全指導教室(小) プール開き	【世界環境デー】 火災避難訓練		【防災の日】【救急の日】 交通安全指導教室(中高)	修学旅行(小・中)	地震津波・火災避難訓練 運動会		【防災とボランティアの日】 修学旅行(高)		
安全教育	教科		避難経路や防災バックの確認《社会・生活》	プール学習について 《保健体育》	火災について 《生活・社会・国語》	実験器具の安全について 《理科》	防災給食について 《生活・自立活動・家庭》	本県の自然災害について 《社会》	地震・津波について 《国語・社会・生活》	調理実習での安全について 《家庭科》	ソーイングでの安全について 《家庭科》	車いす転倒防止について 《生活・自立活動》	防災バックの確認と点検 《社会》
	学級活動		防災頭巾、防災バックの確認 摂食指導(個別適宜) 姿勢指導(個別適宜)	交通安全について →	火災時の避難経路や避難方法等について	防災バックの確認・持ち帰り	防災給食について	修学旅行での安全な活動について	地震時の避難経路や避難方法等について		修学旅行での安全な活動について		→
	通学指導		登校時の交通安全 学校バス乗車に関するルールとマナー →										→
	小学部		車いす等への安全な移乗・操作への協力 学校探検	交通安全指導 プール学習時の安全	災害時の安全な避難(火災)	夏休みの過ごし方 不審者対策等(生活安全) 避難バックの持ち帰り		修学旅行での安全	災害時の安全な避難(地震津波)	冬休みの過ごし方 暖房器具の使用と安全	安全な車いすの操作 →	→	春休みの過ごし方 避難バックの持ち帰り
	中学部		登下校の交通安全 車いす等への安全な移乗・操作	プール学習時の安全	災害時の安全な避難(火災)	夏休みの過ごし方 不審者対策等(生活安全) 避難バックの持ち帰り	公共の場での安全 交通安全指導	修学旅行での安全	災害時の安全な避難(地震津波)	冬休みの過ごし方 暖房器具の使用と安全	安全な車いすの操作 →	→	春休みの過ごし方 避難バックの持ち帰り
	高等部		登下校の交通安全 車いす等への安全な移乗・操作	プール学習時の安全	災害時の安全な避難(火災) 安全な就業体験への参加	夏休みの過ごし方 不審者対策等(生活安全) 避難バックの持ち帰り	公共の場での安全 交通安全指導 安全な就業体験への参加		災害時の安全な避難(地震津波)	冬休みの過ごし方 暖房器具の使用と安全	安全な車いすの操作 → 安全な校内実習への参加 修学旅行での安全	→	春休みの過ごし方 避難バックの持ち帰り
安全管理	対人管理	学校生活	食事中の安全(誤飲、誤嚥、つまり) 車いす、歩行器、立位台等の正しい使い方 校外学習時の緊急時体制確認 校内緊急時シミュレーション(学部・全体)	→									→
			避難バックの管理 個別の緊急時マニュアル・禁忌事項の見直し・作成・共有	プールの安全管理 → 救命講習 防災避難体制の確立 摂食指導		不審者侵入対策訓練(全体) 避難バックの点検		運動会に向けた緊急時シミュレーション 不審者侵入対策訓練(小)	地震津波時の避難体制の確立	避難バックの点検		次年度学校バス運行経路見直し 個別の緊急時マニュアル・禁忌事項の見直し	1年間の反省と評価 次年度の年間計画作成 学校安全計画、危機管理マニュアルの見直し 避難バックの持ち帰り
	対物管理	学校環境	校舎内の安全点検・整備(施設設備・備品) 飲料水検査 室温管理 教室の換気 全体清掃 →	梅雨時の教室管理 プール水質検査 →		→	空気検査 台風対策と片付け 校舎内の安全点検・整備(施設設備・備品)	各教室照度測定		暖房器具の管理 →			1年間の反省と評価 校舎内の安全点検・整備(施設設備・備品)
安全確保に関する点検			車いす等・校舎内外の安全点検 スクールバスの安全装置点検	→									→
				防火設備確認		備品整理				備品廃棄			1年間の反省とまとめ
PTA等組織活動			保健安全部 生活指導部 環境整備部 →										PTA 作業 →

V

児童生徒の実態

1　学級編制表

（1）小学部

学年	組	児童数			学級の種類	学級数	障害種	備考
		男	女	計				
1	訪問	2	0	2			肢体不自由	複式5－2
2	1	0	1	1			肢体不自由	複式3－2
3	1	1	2	3	重複障害学級	1	肢体不自由	
	2	1	0	1	重複障害学級	1	肢体不自由	
4	1	1	1	2	重複障害学級		肢体不自由	複式5－1
5	1	0	1	1		1	肢体不自由	
	訪問	1	0	1	訪問学級	1	肢体不自由	
6	1	0	1	1	一般学級	1	病弱	
合計		6	6	12		5		

（2）中学部

学年	組	生徒数			学級の種類	学級数	障害種	備考
		男	女	計				
1	1	0	1	1	重複障害学級	1	病弱	
		1	0	1			肢体不自由	
2	1	0	2	2	重複障害学級	1	肢体不自由	
3	1	2	0	2	重複障害学級	1	肢体不自由	
合計		3	3	6		3		

（3）高等部

学年	組	生徒数			学級の種類	学級数	障害種	備考
		男	女	計				
1	1	0	2	2	一般学級	1	肢体不自由	
	2	0	3	3	重複障害学級	1	肢体不自由	
2	1	1	1	2	重複障害学級	1	肢体不自由	
3	1	1	0	1	一般学級	1	肢体不自由	
合計		2	6	8		4		

2 市町村別児童生徒数

学部	市町村名	名護市	本部町	今帰仁村	国頭村	大宜味村	宜野座	金武町	読谷村	恩納村	合計
小学部	1	1						1			2
	2	1									1
	3	2		1				1			4
	4				1					1	2
	5	2									2
	6						1				1
	小計	6	0	1	1	0	1	2	0	1	12
中学部	1	1						1			2
	2	2									2
	3	2									2
	小計	5	0	0	0	0	0	1	0	0	6
高等部	1	3			1		1				5
	2	1	1								2
	3		1								1
	小計	4	2	0	1	0	1	0	0	0	8
合計		15	2	1	2	0	2	3	0	1	26

3 令和5年度 卒業生進路先

学部	性別	卒業生数	進路先	合計
小学部	男子	1	本校中学部	2
	女子	1	本校中学部	
中学部	男子	0		4
	女子	4	本校高等部	
高等部	男子	2	生活介護事業所	3
	女子	1	就労継続B型事業所	
計		9		9

4 児童生徒の疾病および障害の状況

[桜野特別支援学校]

	学部	小学部			中学部			高等部			全体			
	性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	百分率
	在籍	5	7	12	2	6	8	4	3	7	11	16	27	%
ダンディ・ウォーカー症候群				0	1		1			0	1	0	1	3.7%
染色体異常			1	1		1	1			0	0	2	2	7.4%
脳性まひ		3	3	6	1		1	1	3	4	5	6	11	40.7%
脳裂症				6	1		1			0	1	0	1	3.7%
ピータース奇形				0	1		1			0	1	0	1	3.7%
低酸素性脳症		2		2			0			0	2	0	2	7.4%
急性硬膜下血腫後遺症				0		1	1			0	0	1	1	3.7%
水頭症			1	1	1	1	2			0	1	2	3	11.1%
水無脳症				0			0		1	1	0	1	1	3.7%
てんかん		4	3	7	3	1	4		3	3	7	7	14	51.9%
知的障害		6	5	11	3	3	6	1	4	5	10	12	22	81.5%
四肢麻痺・運動障害等		6	5	11	3	2	5	2	6	8	11	13	24	88.9%
筋ジストロフィー症				0			0		1	1	0	1	1	3.7%
先天性心疾患術後			2	2			0			0	0	2	2	7.4%
ミトコンドリア病				0		1	1			0	0	1	1	3.7%
気管軟化症				0	1		1			0	1	0	1	3.7%
胃食道逆流症		2		2			0			0	2	0	2	7.4%
胃瘻		2	3	5	3	1	4	1	1	2	6	5	11	40.7%
視力障害・視覚障害(盲)				0		1	1			0	0	1	1	3.7%
聴覚障害・難聴・(聾・人工鼓膜)		1		1			0			0	1	0	1	3.7%
低ホスファターゼ症			1	1			0			0	0	1	1	3.7%
摂食嚥下障害		1	2	3			0			0	1	2	3	11.1%
成長障害			1	1			0			0	0	1	1	3.7%
不整脈				0		1	1			0	0	1	1	3.7%
慢性呼吸不全		2	1	3	1		1			0	3	1	4	14.8%
ムコ多糖症				0			0	1		1	1	0	1	3.7%
甲状腺機能低下症		1		1			0			0	1	0	1	3.7%
脊髄小脳変性症		1		1			0			0	1	0	1	3.7%
歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症		1		1			0			0	1	0	1	3.7%
自閉スペクトラム症			1	1			0			0	0	1	1	3.7%

5 医療的ケアを必要とする児童生徒

［桜野特別支援学校］

		学部	小学部		中学部		高等部		訪問						全体			
									小学部		中学部		高等部					
		性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	百分率
		在籍	3	6	3	3	2	6	3	0	0	0	0	0	11	15	26	%
医療的ケアを必要とする幼児児童生徒			1	3	3	1	1	2	3						8	6	14	53.85
医療的ケア実施者	学校	看護師	1	1	3			1							4	2	6	23.08
		保護者							1						1	0	1	3.85
		本人													0	0	0	0.00
	学校でのケア無（施設のみ）			2		1	1	1	2						3	4	7	26.92
日常的ケア	気管切開部の管理			1	2	1		1	3						5	3	8	30.77
	吸　引		1	2	3	1		1	3						7	4	11	42.31
	酸素吸入				1				2						3	0	3	11.54
	吸入（ネブライザー等）		1	1	2	1		1	2						5	3	8	30.77
	経管栄養		1	3	3	1	1	2	3						8	6	14	53.85
	導　尿														0	0	0	0.00
	その他														0	0	0	0.00
	小　計		3	7	11	4	1	5	13	0	0	0	0	0	28	16	44	169.23
随時（体調不良時等）	吸　引		1	3	3	1	1	1	3						8	5	13	50.00
	酸素吸入		1	3	3	1	1	2	3						8	6	14	53.85
	吸入（ネブライザー等）		1	3	2	1	1	2	3						7	6	13	50.00
	経管栄養		1	3	3	2	1	2	3						8	7	15	57.69
	導　尿							1							0	1	1	3.85
	座　薬（抗てんかん薬）		1	1	1	2	1	2	1						4	5	9	34.62
	その他														0	0	0	0.00
	小　計		5	13	12	7	5	10	13	0	0	0	0	0	35	30	65	250.00
合　計			8	20	23	11	6	15	26	0	0	0	0	0	63	46	109	419.23

VI

防災管理計画

防災管理計画

1　防災管理規定

第１章　総　則

（総則）

第１条　この規定は、消防法及び沖縄県立特別支援学校管理規則第７８条に基づき、沖縄県立桜野特別支援学校の防災管理について規定したものである。

第２章　学校防災の目的

（目的）

第２条　学校防災の目的は次の通りとする。

(1) 災害からの児童生徒及び職員の保護。

(2) 災害から校舎及び財産の保護。

(3) 防火及び防災に対する児童生徒の指導並びに訓練の実施。

第３章　学校防災の方針

（方針）

第３条　次の方針のもとに、学校防災の目的を達成する。

(1) 児童生徒には、学級指導等の中で防災教育を十分に行う。

(2) 職員は、防災についての確認及び共通理解のもとに、常時災害発生に対応できるようにする。

(3) 避難訓練を実施し、職員が災害時に敏速に対応できるようにする。

（防災管理者）

第４条　消防法第８条の規定による学校の防災管理者は教頭とする。

第４章　災害対策

（災害対策本部）

第５条　校長は、災害発生し又は発生するおそれのあるときは、災害対策本部（以下「本部」という）を設置する。

(1) 本部は、校長、教頭、教務主任、保健主事、各学部代表及び事務代表をもって組織する。

(2) 本部長は、校長とし、副本部長は教頭とする。本部長に事故ある時は副本部長が代行する。

(3) 本部員は、本部長の命を受け、情報の把握、職員の配備、関係機関との連絡並びに応急対策の実施にあたる。

（職員の配備体制）

※隣接する名護療育医療センターには必要に応じて協力要請を行う。

※名護療育医療センターの災害時においても本校職員が駆けつけ救助、避難の対応にあたる。

第６条　学校防災のための職員配置は、次の通りとする。配備区分は本部長が決定し、職員に命令する。

配備区分	配置人数	説　　明
A号 準備体制	本　部　長	災害発生のおそれのある時、時間、規模等の推測が困難な時、又は小規模の災害が発生したときの準備対応をする。
B号 準備体制	本部長及び 職員若干名	相当な規模の災害が発生するおそれがあり、又は発生したとき、災害に対する警戒又は対応策を実施する。
C号 準備体制	全　　員	相当な規模の災害が発生するおそれがあり、又は発生したとき、学校の全力をあげて災害応急対策を実施する。

（災害対策）

第７条　災害発生時の準備体制（Ｃ号）組織及び各係の業務については、項目 2 及び 3 に定める。

（災害発生時の連絡等）

第８条　災害発生時の教職員等への連絡は次の通りとする。

(1) 職員への連絡は、緊急連絡網で行う。但し、職員は連絡の有無にかかわらず災害が発生したとき、又は発生のおそれがある時、出勤を原則とする。

(2) 児童生徒には緊急組織より連絡する。

(3) 関係機関には、緊急組織により連絡する。関係機関の電話番号は次の通りとする。

・名護消防本部　52-1142　・名護警察署　52-0110

・名護療育医療センター　52-0957　・県立学校教育課　098-866-2715

(4) 災害が発生した場合、第１発見者は校内放送を通して児童生徒及び職員に連絡するとともに本部長に連絡する。

（災害時の対応）

第９条　災害時の児童生徒の対応は次のとおりとする。

(1)災害発生時、職員は、速やかに児童生徒を把握し、安全な場所に避難誘導し安全の確保に努めるとともに、可能な限り施設設備の保全に当たる。

(2)災害発生時は、状況に応じ安全が確認されるまで校内で待機するものとする。その際、非常電源（発電機）を適宜使用する。

第５章　避難訓練

（避難訓練）

第 10 条　災害防止のため、避難訓練を実施し、児童生徒及び職員に避難合図、経路、場所等を周知させ、災害発生に十分対応できるようにする。

第６章　台風対策

（台風対策）

第 11 条　台風の襲来が予想される場合は、準備体制（Ａ号）を組織し、児童生徒、職員及び校舎財産等の安全確保にあたる。

第 12 条　台風が襲来した場合は、準備体制（Ｂ号）組織を設置し、児童生徒、職員及び校舎財産等の確保にあたる。

（台風時の児童生徒の措置）

第 13 条　台風襲来時の児童生徒の措置は、次の通りとする。

(1) 登校中の場合

暴風警報が発令されたら、速やかに授業を中止し、児童生徒を下校させるとともに、保護者にも連絡し、安全の確保に努める。

(2) 登校前の場合

①　児童生徒の登校前に暴風警報が発令された場合、臨時休業とする。ただし、暴風警報が正午前に解除された場合の児童生徒の登校については、本部長が決定する。

②　台風の襲来が前日に予想されたときには、翌日の登校については、児童生徒及び保護者に対して下記の事項に留意するように指導する。

ア　教育委員会が臨時休業について、ラジオ、テレビを通して指示するので、ニュー

スに注意する。

イ　学校に電話をかけ、確認すること。

(3) 家庭への緊急連絡は、準備体制（B号）組織によって行う。

（台風時の職員の対応）

第 14 条　職員の勤務は、暴風警報が発令された場合であっても、ただちに特別休暇が付与されるのではないことに留意するとともに、業務の停止措置がなされたか否かを学校長（教頭）に確認し、その指示に従う者とする。また、職員は、校舎内外の台風対策を十分に行い、災害の防止に努める。

第７章　施設・設備の保全対策

（施設設備の保全）

第 15 条　施設・設備の保全対策は次のとおりとする。

(1)職員は、施設設備が常に良好の状態で保持するように努める。特に電気、火気の取り締まり及び点検には十分留意する。

(2)非常電源(発電機)は、２階高等部向い倉庫に保管し、保健安全部安全係が管理する。また、毎月１回運転、調整を行う。

（火元責任者）

第 16 条　各室に火元責任者をおく。火元責任者は、火気等の災害防止に努めるとともに、施設・設備を点検し、不備、欠陥を発見したら、速やかに環境整備主任を通して事務に連絡する。火気取締責任者の割り当ては別紙(項目４)の通りとする。

（台風予防対策）

第 17 条　職員は、台風の襲来が予想された場合は、下記事項を行い、災害の防止にあたる。

(1) 窓、出入り口のドアの点検及び固定

(2) 排水口の点検

(3) 断水、停電に対する措置

(4) 重要書類、物品の保全対策

(5) 樹木、花木等の保全対策

（災害後の措置）

第 18 条　各室の火気取締責任者は、被害の状況を速やかに本部長に報告するとともに、授業の早期再開のため、下記事項について実施する。

(1) 危険物の除去

(2) 被害状況の記録

(3) 清掃

(4) 感染症の予防

(5) その他必要事項

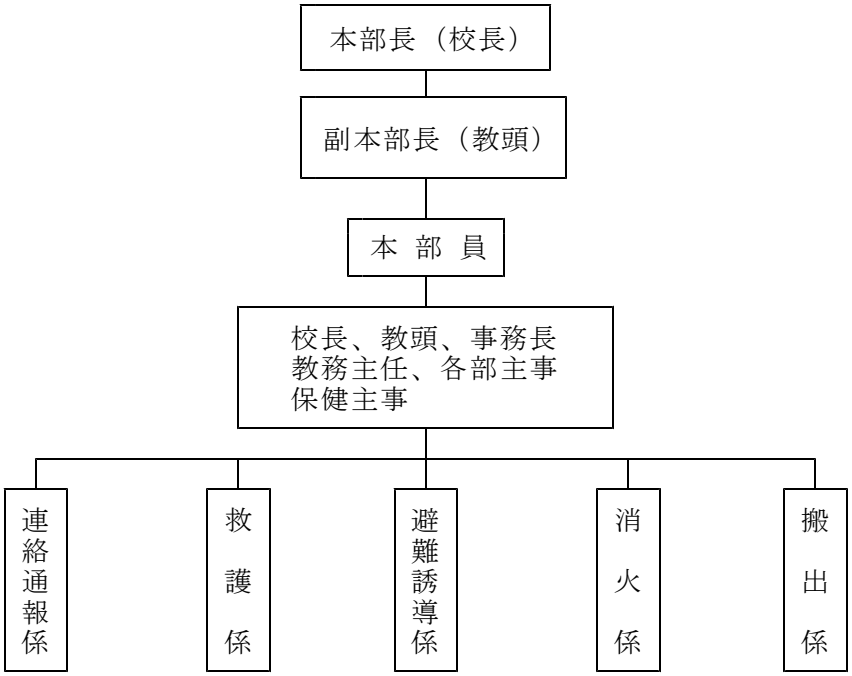
（長期休業中の対策）

第 19 条　職員は、長期休業に入る前には、台風等の災害防止対策を十分に実施する。

(1) 職員は、長期休業に台風等の災害が発生したときには、その後日は出勤とする。

付則　この規定は、平成１２年４月１日から実施する。

2　防災時対策組織



3　各係の業務内容

係　名	業　務　内　容	担　当　者
連絡通報係	・消防、警察への通報、出火場所明示、児童生徒職員への緊急連絡放送、各係への指示 ・教育委員会への連絡	校長、教頭 事務長 保健安全主事
救　護　係	・避難場所の設置、薬品機材等準備、応急手当 ・医療機関への連絡	養護教諭 看護師
避難誘導係	・児童生徒、職員の避難誘導及び掌握 ・児童生徒数の確認後本部長への報告	各学部主事
消　火　係	・初期消火活動、消防署員への協力、消火扉の閉鎖 ・排煙路等の措置	介助員
搬　出　係	・重要書類、物品等の非常持ち出し ・搬出物の点検及び保管	教頭､事務長 学校事務

4　火気取締責任者

一　　階		二　　階	
校　長　室	用　務　員	小学部職員室	小学部教諭
用務員室(印刷室)	用　務　員	普通教室小学部①	小学部教諭
ト　イ　レ（１階）	用　務　員	普通教室小学部②	小学部教諭
中・高職員室	高等部教諭	普通教室小学部③	小学部教諭
更　衣　室(男)	小学部教諭	普通教室中高 AB	中学部教諭
更　衣　室(女)	高等部教諭	普通教室中高 CD	中学部教諭
倉庫(職員室横)	高等部教諭	普通教室中高 E	高等部教諭
教具製作室	中学部教諭	プレイルーム	体育担当教諭
エレベーター	事 務 職 員	保　健　室	養 護 教 諭
事　務　室	事 務 職 員	ト　イ　レ	介　助　員
倉庫(職員室向)	中学部教諭	倉 庫（階段横）	小学部教諭
		倉 庫(中学部向い)	中学部教諭
		給　食　室	給食担当教諭

三　　階			
視 聴 覚 室	図書視聴覚部担当教諭	美　術　教　室	美術担当教諭
ト イ レ	教 室 介 助 員	音　　楽　　室	音楽担当教諭
械室(屋外)	体育担当教諭	図　　書　　室	図 書 司 書
家 庭 科 室	家庭科担当教諭	水　訓　練　室	保健安全部担当教諭
倉庫(階段横)	小学部教諭	2,3 階避難路スロープ	小学部教諭

Ⅶ

スクールバス

令和６年度　スクールバス時刻表

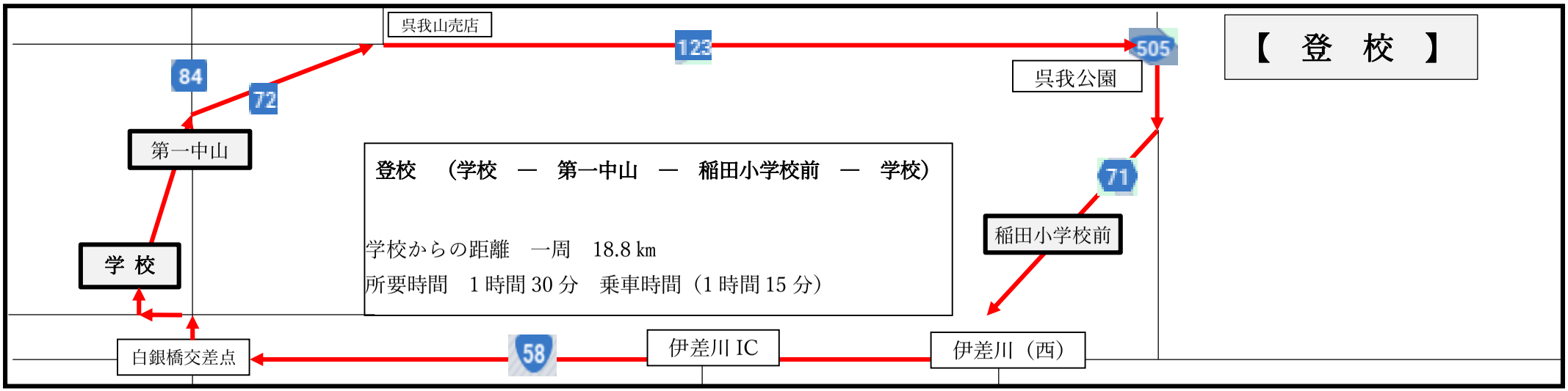
桜野特別支援学校

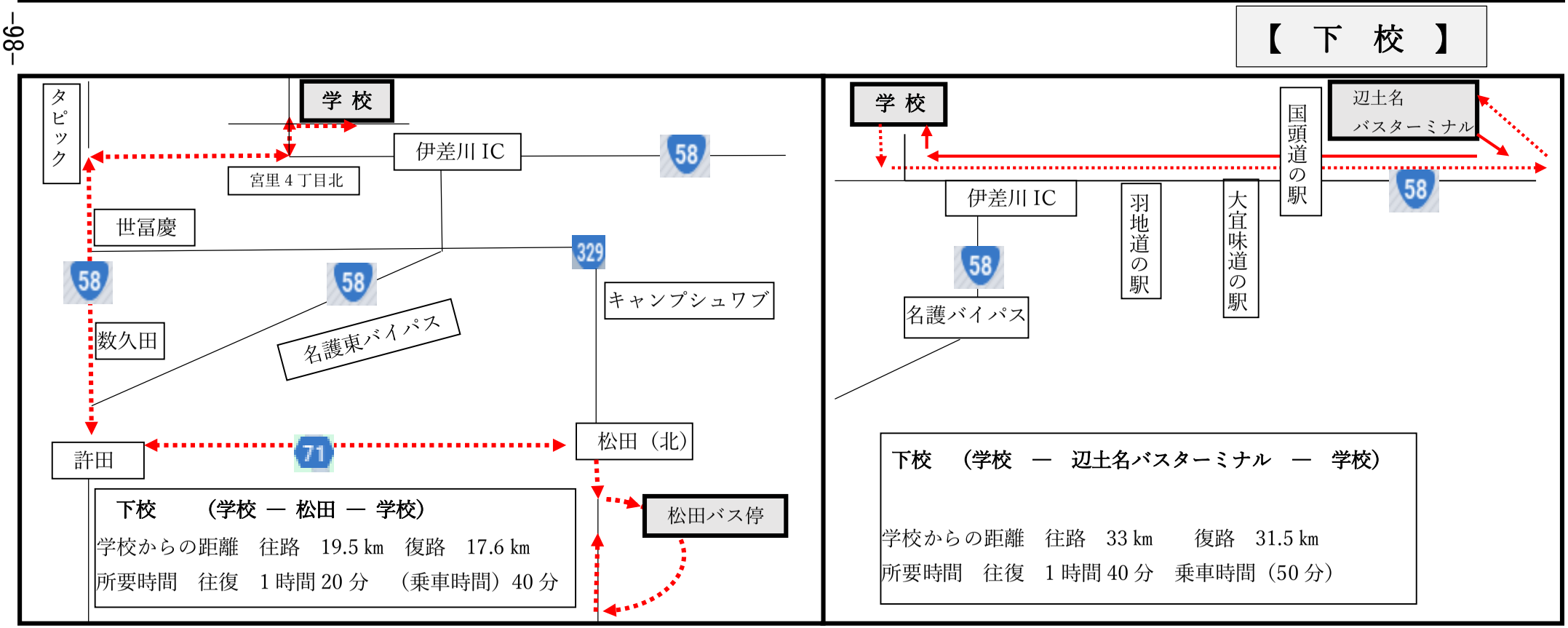
【所要時間】
学校……第一中山　（15 分）
第一中山……稲田小学校前　（25 分）
学校……松田　（40 分）
学校……辺土名バスターミナル（50 分）

登校	
バス停	時刻
学校発	7:00
第一中山	7:15
稲田小前	8:15
学校着	8:40

下校	中送り 14:25下校	通常下校 15:20下校		特別日課 (給食あり)13:45下校		特別日課 (給食なし)12:00下校	
バス停/曜日	水	月・火・木	金	月火水木	金	月火水木	金
学校発	14:25	15:20		13:45		12:00	
松田バス停	15:05	16:00		14:25		12:40	
辺土名バスターミナル			16:10		14:35		12:50
学校着	15:45	16:40	17:00	15:05	15:25	13:20	13:40

令和６年度　スクールバス路線図





スクールバス防災対策について

通常は、スクールバスの移送中の緊急事態発生のマニュアル[1]に従う。
地震・津波・自然災害（暴風警報を除く）の場合、下記による。

記

１．地震・津波について

（１） 運行前

① 【登校時】に地震・津波警報がでた場合

対応：運行前に、ラジオやテレビ等より、警報等が発令され、休校の表示があった場合、運行を取りやめる。

② 【下校時】

対応：日常、ラジオやテレビ等より情報を収集し、警報の場合、校長が運行の取りやめを判断した場合は、担任から保護者へ連絡する。その後、引渡すまで学校で待機する。

（２）運行中

① 【登校時】に地震・津波警報が出た場合

対応：ラジオ等で震度３以上（屋内にいるほとんどの人が揺れを感じる程度）の情報や揺れを感じた場合、介助員は教頭または事務長へ電話し、運行に支障がないかどうか確認する。支障が無い場合、通常運行し、車内のラジオをつけ、その後の地震及び津波の情報を収集する。津波警報があり、避難を必要とした場合、教頭または事務長は、校長へ避難の確認をとり、介助員への避難の連絡をとる。

ア） 乗車前 介助員は、保護者に対して各世帯での安全確保を促す。

イ） 乗車後 常備のハザードマップをもとに、あらかじめ想定する避難場所への避難を優先させ、その場所にて、介助員が保護者へ連絡し、引渡すまで児童生徒の体調維持に努め、待機する。必要な場合は、救急を要請する。また、車内のラジオをつけ、地震及び津波避難の情報を収集に努める。その後、運転手及び介助員は安全を確認しながら帰校する。

② 【下校時】に地震・津波警報が出た場合

対応：ラジオ等で震度３以上（屋内にいるほとんどの人が揺れを感じる程度）の情報や揺れを感じた場合、介助員は、教頭または事務長へ電話し、運行に支障がないかどうか確認する。支障が無い場合、通常運行し、車内のラジオをつけ、その後の地震及び津波の情報を収集する。

津波警報があり、避難を必要とした場合、教頭または事務長は、校長へ避難の確

認をとり、介助員へ避難の連絡をとる。車内に児童生徒がいた場合、常備のハザードマップ等をもとに、あらかじめ想定する避難場所への避難を優先させ、その場所にて、介助員は保護者へ連絡し、引渡すまで、児童生徒の体調維持に努め、待機する。必要な場合は、救急を要請する。車内のラジオをつけ、地震及び津波避難の情報を収集する。その後、運転手及び介助員は安全を確認しながら帰校する。

※運行中、管理者に確認する時間が無い場合は、介助員と運転手の判断で児童生徒の安全を優先して行動する

2. その他自然災害について

（1） 運行前に暴風警報等が出た場合

【登校時】

対応：運行前に、ラジオやテレビ等より、暴風警報等が発令された場合、運行を取りやめる。

【下校時】

対応：日常、ラジオやテレビ等より情報を収集し、警報の場合は、校長が運行の取りやめを判断した場合、担任から保護者へ連絡、その後、引渡すまで学校で待機する。

（2） 運行中に暴風警報等が出た場合

【登校時】・【下校時】

対応：教頭又は事務長は、介助員に連絡をとり、児童生徒を引渡す方がより安全と現場で判断した場合、校長に許可を得、安全に配慮しながら速やかな運行を指示する。しかし、児童生徒の安全が保てないと判断した場合、同時に現場で判断した安全な場所へ待機させ、その旨を校長へ報告し、校長が待機場所での避難と判断とした場合、介助員より保護者へ連絡し、待機場所で保護者へ引渡す。その後、運転手及び介助員は安全を確認しながら帰校する。

（3） 経路が一部遮断・冠水した場合（暴風警報解除後も含む）

① 【登校時】【下校時】に土砂崩れによる場合

対応：教頭又は事務長は、下記の確認先にて道路の状況を確認した後、介助員へ連絡しそのポイントを避け運行する。しかし、運行が不可能だと判断した場合、そのコース上で、運行上、送迎が困難な児童生徒がいる場合、校長に許可を得、介助員から保護者自らの登下校の協力要請する。その他の児童生徒は、通常の運行となる。また、運行の時間が変更になる場合は、介助員は、保護者へその旨連絡をとる。

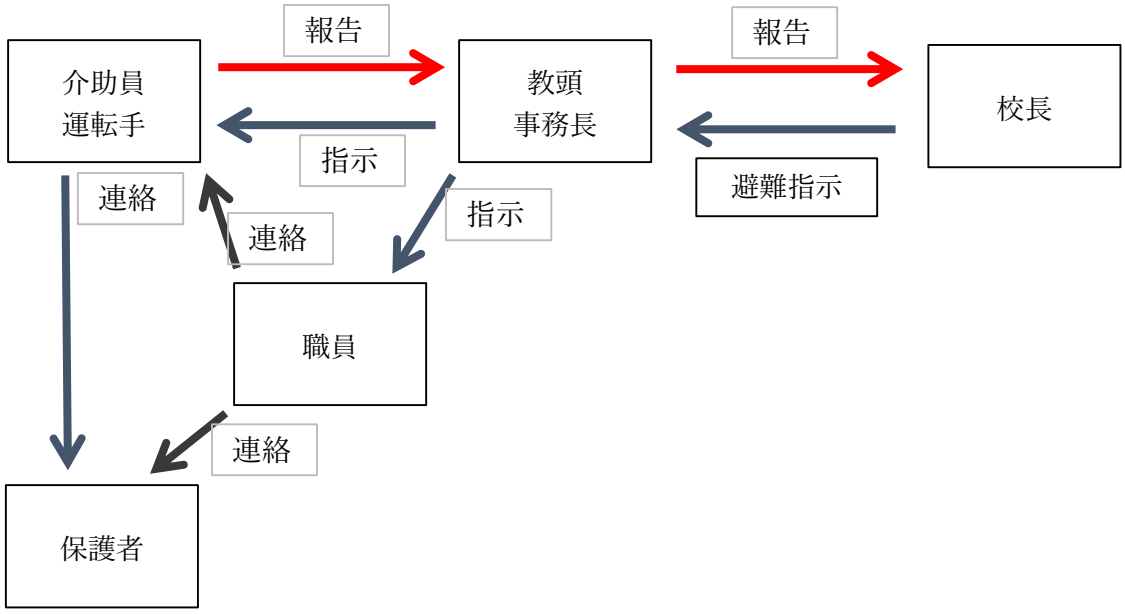
道路状況の確認先

名護市役所 （0980-53-1212【総務】）、宜野座役場（098－968－5111【総務】）

大宜味村役場（0980－44－3001【総務】）、国頭村役場 （0980－41－2101【建設課】）

北部国道事務所（国道 505 0980-53-2852）

フローチャート



津波警報が出て、避難を必要とした場合

海沿いの国道 58 号線を運行していた場合に、津波警報発令された時は、名護市の津波避難施設にある一時的に避難する施設である下記の建物に避難を優先する。

記

ホテルゆがふいん沖縄（名護市字宮里４５３番地 1）

ホテルルートイン名護（名護市大中一丁目１９番２４号）

名護市産業支援センター　（名護市東江五丁目１番１号）

オリオンビール名護工場（名護市東江五丁目１１番３号）

県営東江高層住宅（名護市東江二丁目２番１号）

状況によっては、宜野座方面（日興ﾘｰｽ・日本ｷｬﾀﾋﾟﾗｰ）かｵﾘｵﾝﾋﾞｰﾙの高台へ向かう。

辺土名線や宜野座線を運行中に津波警報が発令された時は、ハザードマップを活用しながら避難経路を決定する。しかし、道路が混雑等に運行ができない時は、徒歩での避難が想定されることから、介助員及び運転手は、学校への応援依頼をし、周囲の協力を求めながら、周辺の一番近い高い建物への児童生徒の避難を優先させる。

Ⅷ

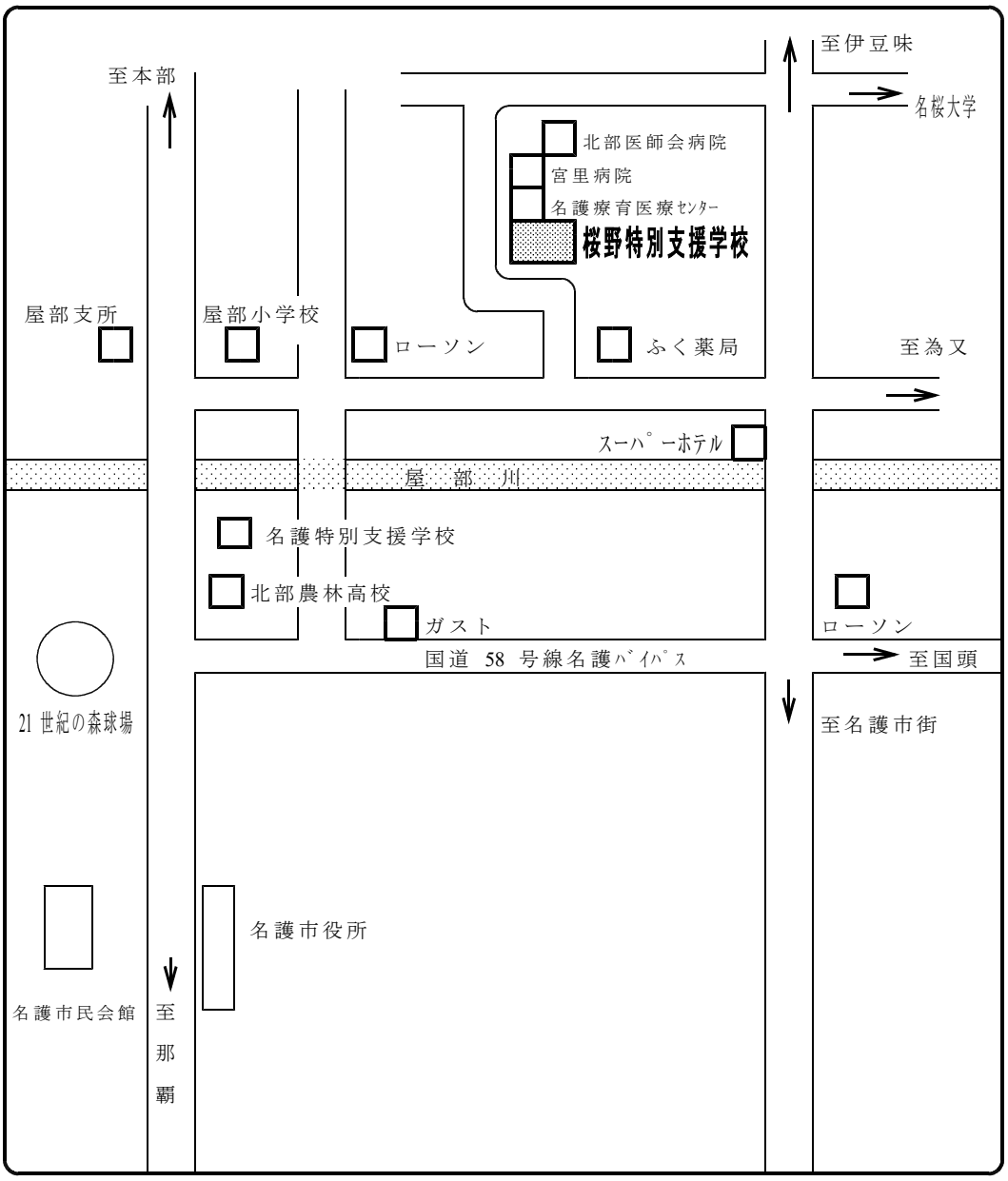
歴代校長・教頭・事務長

歴代校長、教頭及び事務長名一覧（ ～ 令和６年度 ）

県立桜野特別支援学校

年度	代	校　長	代	教　頭	代	事 務 長	備　考
昭和 61～63			泡瀬養護名護分校	仲田　文雄			昭和61年度～ 泡瀬養護学校名護分校として発足
平成 元～3				渡口　麗順			
平成 4～6				照屋　成順			
平成 7～8				仲松　忠			
平成 9～10				久場　兼征			
平成 11				大城　學			
平成 12	初	仲松　忠	初	大城　學	初	島袋　京子	平成12年1月1日（開校記念日） 桜野養護学校として独立
平成 13		〃	2	比嘉　良高		〃	
平成 14	2	天久　仁助		〃	2	次呂久　長英	
平成 15		〃		〃		〃	
平成 16		〃	3	唐眞　盛充	3	榮野川ケイ子	
平成 17	3	田仲　康丈		〃		〃	
平成 18	4	識名　昇		〃	4	比嘉　順	
平成 19	5	又吉　幸子	4	仲村渠　修		〃	
平成 20		〃		〃	5	宮城　乾	
平成 21	6	照屋　成順	5	町田　裕		〃	平成21年4月1日 「沖縄県立桜野特別支援学校」へ名称変更
平成 22		〃	6	平良　浩希	6	波平　誠	平成22年2月5日　創立10周年記念式典
平成 23	7	比屋根　博之		〃		〃	
平成 24		〃		〃	7	宮城　光代	
平成 25	8	中石　直木	7	幸地　英之	8	阿波連　智子	
平成 26	9	嵩原　建二	8	比嘉　守雄	9	比嘉　勝人	
平成 27		〃		〃		〃	
平成 28	10	長浜　勝直		〃	10	瀬底　哲也	
平成 29		〃		〃		〃	
平成 30	11	座間味恵利子	9	比嘉　徹	11	町田　千枝子	
平成 31		〃		〃		〃	令和２年２月10日　創立20周年記念式典
令和 2	12	幸地　英之	10	池間　千佳子	12	小渡　靖	
令和 3		〃		〃		〃	
令和 4		〃	11	金武　圭代		〃	
令和 5	13	津波　佳和		〃	13	崎浜　太一郎	
令和 6		〃	12	金城　奈緒子		〃	

交　通　案　内　図


至伊豆味
至本部
名桜大学
北部医師会病院
宮里病院
名護療育医療ｾﾝﾀｰ
桜野特別支援学校
屋部支所
屋部小学校
ローソン
ふく薬局
至為又
スーパーホテル
屋部川
名護特別支援学校
北部農林高校
ガスト
ローソン
国道 58 号線名護バイパス
至国頭
21 世紀の森球場
至名護市街
名護市役所
名護市民会館
至那覇